

COVER INTERVIEW My Purpose 挑戦する人

オーストリアとスロバキアで 大喝采を浴びた2016海外公演

同志社交響楽団(「同響」)は日本のクラシック音楽の発展に尽くした指揮者の中川牧三氏を中心に1925年に創設された。本学を拠点に他大学の学生も数多く集う関西屈指の学生オーケストラである。同立交歓演奏会(立教大学交響楽団との交歓演奏会・東京と京都で交互に実施)、定期演奏会、全同志社メサイア演奏会を中心に多彩な活動を展開。1980年からは、アメリカでの演奏旅行を皮切りに海外公演にも積極的に取り組み、高く評価されている。

「3歳の時にピアノを始めました。ピアノを弾く従姉がとてうらやましくて、父親に懇願したのです。それがクラシック音楽との出会いです。高校生の頃には弦楽器に憧れ、オーケストラで演奏したいと思っていたのですが、学校にクラブがなかったので、コーラス部でピアノ伴奏をしていました。同志社大学に進学して、ようやく長年の夢を実現することができました」と、今岡真由さんは快活に笑う。

「同響」ではヴィオラを担当しているが、弦楽器を手にしたのは入団後が初めてであり、先輩の個人レッスンも受けながら練習漬けの日々が続いた。そのかいあって、1年次の秋学期には大阪のザ・シンフォニーホールで行われた演奏会への初参加を果たす。「まず、ホールの音響の素晴らしさに感動しました。曲目は『眠れる森の美女』でした。失敗を恐れるよりも、自身の最高の演奏をしたいという思いで懸命でした」。現在もヴィオラを日々持ち歩き、キャンパス内の練習場でも練習に励んでいる。ヴィオラの落ち着いた深みのある音色が魅力だと語る。

今年は3年に1度の海外公演を実施

する年であり、3月初旬にオーストリアとスロバキアで公演を行った。「オーストリアではグラーツにあるステファニーザールという壮麗なコンサートホール、スロバキアではブラチスラバにあるレデクタホールで公演しました。いずれも満席で、グラーツでは『ブラボー!』などの歓声が湧き起こり、ブラチスラバもスタンディングオベーションに包まれました。ブラチスラバのホールは、映画化もされた人気ドラマ『のだめカンタービレ』のゆかりの地でもあり、ホール内の美しさにも感動しました」。これまで多数の曲目を演奏してきた今岡さんだが、今回の海外公演で披露したJ.ブラームス:交響曲第2番ニ長調 作品73が最も印象深いという。「これからも、この曲目を聴くと、あの日の満場の喝采が鮮やかによみがえってくると思います」

今年1月からは「同響」のチーフマネージャーも先輩から引き継いだ。指揮者の先生との連絡役を務め、スケジュールを管理し、演奏会の広報も担当している。「以前とは異なる大きくて高い視点から携われるので、非常にやりがいを感じています」。直近の仕事は同立交歓演奏会の一環として開催する第13回京都公演であり、これを成功させるために全力を傾注している。



今岡 真由さん
【経済学部 3年次生】

INFORMATION

同志社交響楽団 第13回京都公演

日時: 2016年6月11日(土)
17:30 開場 18:30 開演
場所: 京都府長岡京記念文化会館
指揮: 齊藤 一郎
曲目: ブラームス ハンガリー舞曲第1番・第3番・第10番
メンデルスゾーン フィンガルの洞窟
ウェーバー 魔弾の射手
ドヴォルザーク 交響曲第9番 小短調 作品95「新世界より」
入場料: [全自由席] 一般券 1,000円 シニア券(65歳以上) 800円 学生券 500円
お問い合わせ 同志社交響楽団 <http://orchestra.musicinfo.co.jp/~dokyoweb/>

One Purpose

(ワンパーパス)同志社大学通信 187号

2016年6月1日(4・6・10・12月号4回)発行
発行 同志社大学 広報部広報課
〒602-8580 京都市上京区今出川通馬丸東入

TEL 075-251-3120 FAX 075-251-3080
E-mail h-kohon@mail.doshisha.ac.jp



One Purpose

FOR BETTER COMMUNICATION

同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY



187

2016 June



COVER INTERVIEW
My Purpose 挑戦する人

特集

本学で学ぶ留学生から見た
日本・京都・同志社

「留学生—世界の眼」 座談会

同志社人訪問

桑原専慶流15世家元
桑原 仙溪さんに聞く

2 特集 「留学生—世界の眼」座談会

7 Seminar ～ゼミ探訪 学びの時間～
文化情報学部 宿久 洋ゼミ



9 同志社の研究は今
京都と茶文化研究センター
センター長 佐伯 順子 (社会学部メディア学科教授)



11 データでみる同大生の2015年度就職戦線

13 2016年度 大学予算について

15 CAMPUS NEWS

ボランティア支援室開設! / 外国人留学生歓迎特別チャペル・アワーを開催 / 体育会表彰式 / 同志社社友記贈呈式・総長賞表彰式 / 同志社大学の募金事業 / ハリス理化学館 同志社ギャラリー特別展 / 本学教員の執筆図書紹介 / グローバル人材育成 連続セミナー開催のご案内

19 留学生紹介

朴 炫宣さん
(グローバル・コミュニケーション学部日本語コース)



20 INTERVIEW ～同志社人訪問～

桑原専慶流 15 世家元 桑原 仙溪さんに聞く



23 My Job, My Life ～私と「仕事」～

森 祥文さん (2002年 法学部法律学科卒業)
船津 毎さん (2012年 文化情報学部卒業)

25 ANNOUNCEMENT

27 COVER INTERVIEW My Purpose ～挑戦する人～

今岡 真由さん (経済学部 3 年次生)



ご意見・情報を募集

「One Purpose」は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。どうぞお気軽にご意見・情報を広報課までお寄せください。

特集 本学で学ぶ留学生から見た

日本

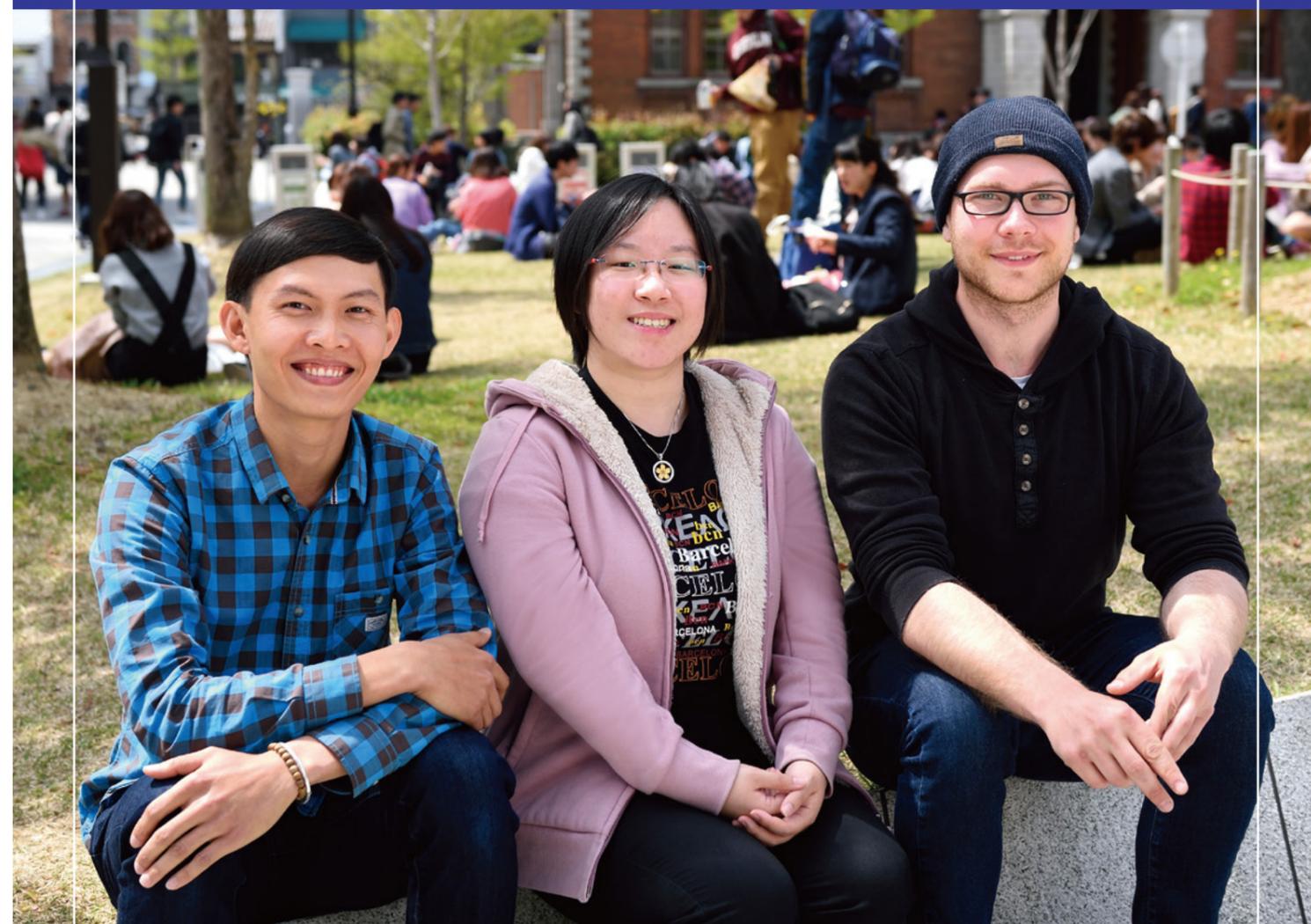
京都

同志社

「留学生—世界の眼」座談会

同志社大学に集う留学生に、それぞれの視点や多彩な体験から日本の印象、京都の魅力、同志社での学びなどを率直に語っていただきました。

これらの実感に裏付けられた貴重な「声」の数々が在学生の皆さんの新たな気づき、今後の歩みに役立てばと願っています。



チー・チャン・ティンさん

Tri Tran Thien

大学院ビジネス研究科に在学
(ベトナム出身)

リオニ・リムさん

Leonnice Lim

国際教育インスティテュート (ILA) に在学
(マレーシア出身)

ハケット・マシューさん

Hackett Mathew

日本語・日本文化教育センターに在学
(オーストラリア出身)

おもてなしの心を実感
初めて見た雪にも大感激

—出身、年齢、留学年度、学部などを教えてください。

チー ベトナム・ダナン市の出身で、26歳です。2015年4月から同年9月まで日本語・日本文化教育センターで日本語を学び、現在は大学院ビジネス研究科で学んでいます。留学期間は2017年9月までの予定です。

リオニ 出身はマレーシアの首都クアラルンプール市で、年齢は22歳です。2013年9月に英語で教授される科目のみで学位を取得できる国際教育インスティテュート (ILA) に入学しました。現在、3年次生です。卒業後は、同志社大学の大学院に進みたいと考えています。
マシュー オーストラリア・クインズランド州の出身で、23歳です。昨年9月にクインズランドにあるサンシャインコースト大学から留学し、日本語・日本文化教育センターに在籍しています。留学期間は1年間の予定です。

—日本を訪れた時の第一印象を聞かせてください。

リオニ 来日は今回の留学が初めてではなく、12歳の時に観光旅行で訪れています。子どもの頃から日本が大好きで日本語も勉強していたので、家族のツアーガイドの役目を担いました。「いつか日本に行きたい!」という夢を実現でき、大感激したことを今でもよく覚えています。日本に強く憧れるようになったきっかけはアニメと伝統文化で



す。東京は世界の最先端に位置する大都市で、ほとぼしるようなエネルギー、独特の刺激的な空気感に満ちていますが、京都には長い歴史を背景にした奥深い文化があることを実感し、その絶妙なバランスにも日本ならではの魅力を感じました。

マシュー 街の清潔さが印象的でした。自然の景観も美しい。京都の落ち着いた雰囲気は出身地のクインズランドに似ています。私も「ドラゴンボール」などのマンガやアニメで、日本に特別な関心を抱くようになりました。

チー 私は22歳の時に日本の公益財団法人が主催する「自然との共生」をテーマにしたプログラムで長野県を訪れたのが最初です。飛行機の窓から都市が見えてきた時、その整然とした街並みと木々の緑色に感嘆しました。母国とは全く異なる世界でした。ホームステイも経験しましたが、食事の仕方、お風呂の入り方などにもカルチャーショックを受けました。同じ年に、もう一度来日する機会があり、「日本で学ぼう!」と決めました。

—日本で感激したこと、印象深いことは何ですか。

リオニ おもてなしの心、伝統文化、

自然など全てが素晴らしい。例えば、おもてなしについては、家族で京都の旅館に宿泊した時の心配りに満ちた接客が印象的でした。こちらの思いを察していろいろと細やかにサポートしてもらえるので、本当に感激しました。現在街を歩いている、同じような優しい気配りを感じます。

チー ビジネス研究科の友人たちとも何度か語り合ったのですが、日本には「人のためにすることは、やがて自分に返ってくる」という考えが根付いているように感じます。個人主義とは異なる、どこか禅の教えにも通じる発想です。それがおもてなしの心につながっているように思います。

マシュー 日本人は非常に親切です。これがおもてなしの心なのだと実感しました。つまり、何よりも「人」が一番印象的でした。例えば、日本人の友人と雑談をしていて、行きたい所や食べてみたいものを言うと、すぐに調べて、教えてくれる。いつもそっと手助けしてくれるので、本当に優しいなと思います。

リオニ 初めて見た雪にも言葉にできないほど感激しました。留学した年の冬です。日本の変化に富んだ四季は素晴らしい。しかも、それぞれの季節感が暮らしの中に組み込まれ、日々の生活の彩りになっている。このような雪月花を深く愛する感性は、日本人ならではのものだと思います。

マシュー 私は雪を見てみたくて北海道へ行きました。春休みに6日間の一人旅をして、満喫してきました。驚くほど幻想的で、最高でした。京都の春秋も素晴らしい。春の桜花、秋の紅葉も

大好きです。写真も数え切れないほど撮りました。

チー 私の出身地があるベトナム中部の季節は雨季と乾季のみで、日本のようなはっきりとした四季がありません。そのため、私も初めて雪が降った日は、時が経つのも忘れて見入ってしまいました。その後、雪が積もった朝には、大学まで自分の足跡を興味深く確かめながら歩きました。桜花や紅葉の美しさにも感激しました。季節がそれぞれの色を持っている。日本人は四季によって自然と調和し、共生することを学んできたのだと感じました。

綺麗な歌舞伎、奥深い座禅
日本酒も格別においしい

—日々の生活で実感していることを聞かせてください。



チー 非常に便利で、快適です。例えば、今年の夏に友人と自転車で琵琶湖を1泊2日かけて1周しましたが、食料品などは一切準備しませんでした。喉が渴けば自動販売機に寄り、夜はコンビニでカップ麺などが買えるからです。住宅もコンパクトで機能的。特にバスやトイレ、洗面が分かれているのが良い

ですね。大学にも設置されていますが、温水洗浄便座にも感動しました。帰国したら自宅にも設置したいと思っています (笑)。

リオニ 私も驚きました。本当に便利で清潔です。マレーシアでは、まだ普及していません。だから、帰国すると「ああ、日本に戻りたい…」と思います (笑)。コンビニについても同感です。母国にもありますが、日本の方が圧倒的に品ぞろえが多彩で、商品の質も高いように感じます。自動販売機もどこにでもあるので、夏は手ぶらでも平気。冬に温かい飲み物がすぐ買えるのもありがたい。また、100円ショップも母国の友人を連れて行きたい場所の一つです。

マシュー やはり、コンビニは便利です。パンからアルコールまで日常生活に必要なものは何でも買えるし、どこにでもある。オーストラリアでも都心には数多く点在していますが、郊外では少ない。このあたりが日本と違う。100円ショップも驚きました。最初は少し浮かれてしまっ、特に必要のないものまでいろいろと買い込んでしまいました (笑)。温水洗浄便座は冬場に便座が温かいのが良いですね。それから、これは不満に感じていることですが、日本の銀行は手続きなどが煩雑で不便です。ネットに慣れているので、余計にそう感じるのかも知れません。

—京都での体験で特に印象深いのは何ですか。

リオニ 日本の文化はどれも好きですが、特に歌舞伎は素晴らしい。南座で

何度も鑑賞しています。衣装が華麗で、せりふにも独特の抑揚と余韻があり、極められた立ち居振る舞いも息をのむほど美しい。男性が演じる女形も感動的です。「都をどり」も観に行きました。あの独特の言葉もすてきです。実は12歳で京都を観光した時、祇園で舞妓さんに出会い、「私も舞妓さんになりたい!」と両親に懇願して以来、舞妓さんや芸妓さんに憧れています。お茶やお花も習いたいと思っています。最近は落語に興味がありました。いつか寄席で落語を楽しみたいです。

マシュー 抹茶は少し苦味がありますが、甘いお茶うけと一緒にいただくのでおいしかった。能楽も鑑賞しました。興味深かったけれど、2時間を過ぎると眠たくなってきました (笑)。これからぜひ経験したいのは、鴨川納涼床。それから和装、茶道、書道、柔道…。鑑賞したいのは葵祭、祇園祭、花火大会、庭園、社寺の建築などいろいろあります。行ってみたいのは嵐山・嵯峨野、桂離宮、それから日本酒が大好きなので伏見の酒蔵を見学して、試飲もしたい。金曜日の夜、授業を終えた後に飲む冷酒は最高です!!

チー 大徳寺で座禅を体験しました。非常に興味深い世界です。ベトナムにもメディテーションはありますが、作法が異なっています。座禅では、まず半眼になり、丹田を意識を持っていきます。その時、学んだ根幹を表す言葉は、今も暗唱することができます。「気・心・腹・人・己」という五つの文字です。気は長く、深く呼吸することによって心を丸く保ち、腹は立てず、人は大きく、

「留学生の声」ランキング①

Q 日本の優れていると思うものは何ですか?

- 1 街の清潔さ
- 2 伝統文化
- 3 自然の景観
- 3 おもてなし・サービス
- 5 電車などの時間が正確
- 5 温泉

「留学生の声」ランキング②

Q 日本で飲食したいものは何ですか?

- 1 京料理
- 2 京菓子
- 3 うなぎ
- 4 寿司
- 5 天ぷら

「留学生の声」ランキング③

Q 京都で体験したい文化は何ですか?

- 1 京町家
- 2 和装 (着物・浴衣)
- 3 純和風旅館
- 4 茶道
- 5 お茶屋

「留学生の声」ランキング④

Q 京都で見たいものは何ですか?

- 1 春の桜、秋の紅葉、冬の雪景色
- 2 祇園祭
- 3 京舞
- 4 庭園
- 5 歌舞伎
- 5 鞍馬の火祭

*各アンケートは複数回答 (3項目を選択) で集計。約30人の留学生の皆さんにご協力いただきました。

己すなわち自己というものを限りなく小さくしていくようにと教わりました。座禅の他に、お茶やお花にも強い関心を抱いています。

**同志社を選んで正解
学びの環境も素晴らしい**

——留学先に同志社大学を選んだきっかけを教えてください。

リオニ まず、選択肢としては欧州も考えました。その際に「そんなに日本が好きなら日本の大学に留学すれば…」という両親の助言もあって、大好きな京都にある大学を調べた結果、同志社大学が私の第一候補になりました。実際に訪れた時、特に印象的だったのはアカデミックでモダンな今出川校地の建物です。キャンパス内も閑静で調和が取れており、とても良い雰囲気だと思いました。

チー 同志社との出会いはまさに運命的でした。母国で日本の各大学によるオリエンテーションがあり、ここで初めて同志社大学には経営全般に関する専門的な能力を養うことができるビジネス研究科があることを知りました。私の実家はソーセージなどの製造・販売をしており、将来的にこの仕事と絡めてベトナムでラーメンのビジネスを起業したいと考えていたので、合致したのです。その後、同志社の教授からも非常に有益な情報や助言をいただき、迷うことなく決めました。留学後は研究のためにラーメンの食べ歩きも続いています。最近、今出川キャンパスの

近くにオープンしたお店にも早速出かけました。すごい行列で待たされましたが、おいしかった!!

マシュー サンシャインコースト大学では留学先をイタリア、インドネシア、日本の3カ国から選べたので、以前から関心を持っていた日本に決めました。大学は同志社大学と立命館大学を選択できたのですが、オーストラリアに留学していた同志社の友人がおり、事前に大学のことも詳しく聞いていたので同志社を選びました。キャンパス内の建物を見てみると『ハリー・ポッター』に登場する学校を思い出します。とてもアカデミックな感じがするからです。それが第一印象です。緑の木々に囲まれたキャンパスは心地よく、サンシャインコースト大学と同じように心が和みます。ただし、母国の大学には野生のカンガルーがいますが…(笑)。



**数多くの新たな出会い
人間としても大きく成長**

——本学に留学後の実感などを聞かせてください。

チー 新島襄先生の崇高な志、それを実現していく凄まじい行動力に感銘を

受けました。先生に関する書籍も何冊も熟読しました。授業ではティーチング・アシスタントという、学ぶだけではなく、教える機会も与えていただき、感謝しています。勉強になりました。また、ビジネス研究科には世界各国から多数の留学生が集い、キャンパス内でも多彩なイベントが開催されています。ですから、日本だけでなく様々な国の歴史や文化、社会の現状を実感的に知ることができます。これも同志社の大きな特徴であり、メリットです。

マシュー 学生の交流が非常に活発です。友人の友人は友人という感じで、出会いの輪はどんどん広がっていきます。先週も40人前後で居酒屋に出かけ、歓談しました。また、同志社で学ぶ日本人の学生は、私の大学と比べて「海外で勉強したい!」という人が圧倒的に多く、助言や情報も頻繁に求められます。これは同志社が掲げる「国際主義」が浸透しているからだだと思います。

リオニ 私はリベラルアーツ教育を受けていますが、その学びは同志社の教育理念の一つである「自由主義」に直結していると感じています。数多くの科目の中から自分の意思で選択できる範囲が広く、それが研究したい分野を見いだすのに役立っています。また、国際的な環境も素晴らしい。留学を決めた時を振り返ると、同志社大学が「国際主義」を掲げ、これを積極的に推進し、世界に向けて情報発信を行っているの、私自身も同志社との接点が生まれ、留学が実現したのだと思っています。

チー 学問以外にも様々な学びがあります。京都そのものが「もう一つの大

学」なのです。例えば、座禅によって日本の精神を体験的に垣間見ることができました。また、和食は非常にバランスの良い食文化です。だから、これほど世界的に注目されているのだと思います。京都の自然と調和した暮らしも素晴らしい。留学によって人生の新たな在り方や楽しみ方を感じることができました。

リオニ 留学によって貴重な体験を得ています。異文化を背景にした人々と接する中でコミュニケーションを深めるためには、多様性に即応できる柔軟な精神を養う必要があります。その他にも日々様々な経験をしますが、それが大きな糧になっています。何か問題や課題が新たに生じる度に、「これを打ち破り、前に進むぞ!」という気力が鍛えられ、それが人間としての成長につながっています。京都の同志社大学で学べて、とてもありがたく思っています。この地に住みたいという夢がかない、新しい物事を学べ、思い出に残る数多くの経験ができ、留学前よりも自身や世界のことを、より深く知ることができました。さらに同志社で勉強を重ね、日本に残りたい。ここが「私の居場所」だと強く感じています。

マシュー 今回の留学によって数多くの新たな出会いがあり、文化を学び、様々な経験を得ることで、人間としても成長していると実感しています。今、私はこれからの自分の人生が大きく変わるほどの体験をしています。日本人学生の皆さんも、海外で学ぶ機会を積極的につかんでほしい。きっと大きな糧が得られます。チャンスを生かされるように願っています。

「感激のKYOTO」誌上探訪

今回の特集座談会に参加した各国留学生が日本や京都で特に感激したこと、これから体験したいものをクローズアップしてご紹介します。

四季を深く愛する感性は
日本人ならではのものだと思う



初めて雪が降った日は
時を忘れて見入ってしまった



茶道、書道、柔道、和装…
鴨川納涼床もぜひ体験したい



子どもの頃から憧れた舞妓さん
あの独特の言葉もすてきです



金曜日の夜、授業を終えた後に
飲む冷酒はもう最高!!



「留学生の声」ランキング⑤

Q 京都で行ってみたい場所はどこですか?

- 1 二条城
- 2 伏見稲荷大社
- 3 清水寺
- 3 嵐山・嵯峨野
- 3 桂離宮
- 3 金閣寺

「留学生の声」ランキング⑥

Q 留学先に同志社大学を選んだ理由は?

- 1 京都にある名門大学
- 2 自由・国際主義などに魅力を感じた
- 3 勉学とともに幅広い交流ができる
- ④ 充実したカリキュラム
- ⑤ 先生・先輩・知人に勧められた

国際交流のススメ

【国際交流ラウンジ】

今出川校地扶桑館2階、京田辺校地朝業館1階にある国際交流ラウンジをご存じですか?日本語を勉強中の留学生、外国語が苦手な日本人学生の方は身振り手振りで、まずは友達づくりから国際交流ラウンジをぜひのぞいてみてはいかがでしょうか。もちろん語学が堪能で、さらにスキルアップしたい方にもお勧めです。(開室時間:平日9:00~17:00)



今出川国際交流ラウンジで行った「オープンラウンジ」

留学生と積極的に交流してみませんか。外国語が苦手でも、「No problem!」です。すぐに打ち解けて、あなたの世界が大きく広がります。

【SIED】

SIED(シード Student Staff for Intercultural Events at Doshisha)では、学生が主体となって国際交流イベントを企画・実施しています。留学生と日本人学生の交流の輪が自然と広がるような、楽しいイベントが盛りだくさんです。



4月に開催された「奈良散策 Nara Walk」



ゼミナール Seminar

ゼミ探訪学びの時間

文化情報学部
統計科学研究室：宿久 洋ゼミ
【文化情報学部教授】

外部の多彩なコンペティションに 少人数のチームで挑み 実際の課題解決で実践力を鍛える

専門性を際立たせる 新教育プログラムを実施

文化情報学部では言語、社会、経済、歴史、心理など人間の営みの全てを文化と捉え、その諸現象をデータサイエンスという手法で解明している。“文理融合”を特徴とする学部であり、文化を理解する新しい方法論の構築によって次代に貢献することを目指している。その専門性をさらに際立たせ、学びの方向性をより明確にするために、来年2017年度から新教育プログラムを実施。これによって宿久ゼミもこれまで以上に充実したものになる。

新教育プログラムでは、新たにコース制を施行し、3年次に選択する。文化資源学、言語データ科学、行動データ科学、データ科学基盤の4コースがあり、これらは大学院のコースと連動している。これに対応して選択科目群も文化クラスター科目群（文化資源学分野、言語データ科学分野、行動データ科学分野）とデータサイエンス科目群（データ分析分野、基礎数理分野、情報・コンピュー

タ分野）の2群6分野に再編される。1～2年次に文化に関する幅広い基礎知識とデータサイエンスの基盤となる知見・技能を身に付け、3～4年次に専門性を高め、プロジェクト型の講義で実践力を養い、主・副担当による複数指導で卒業研究を行い、文理のバランスのとれた人材を養成する。なお、学部奨励学生制度によって4年次から大学院文化情報学研究科の講義科目の履修もでき、大学院での1年と合わせて5年で修士の学位の取得が可能となる。

「文理融合、文化、データサイエンスをキーワードにした本学部のコンセプトは不変です。次年度からの新教育プログラムの実施を文化情報学部のセカンドステージと位置付けています。社会的要請に、より具体的に答えていくための刷新です」。人材育成の方向としては文化に関する深い専門性とデータリテラシーを備えたジェネラリストと文化についての幅広い教養を備えたデータアナリスト、データエンジニア、データコンサルタントなどのデータサイエンティストを想定している。

外部のコンペティションで 実践的データ解析を学ぶ

宿久洋教授の研究分野は多変量データ解析、計算機統計学である。これに基づき宿久ゼミでは「実践的データ解析からの知識発見」を卒業研究における学びの目標としている。その特徴はゼミ生が六つのテーマから取り組む課題を選択し、大学院生の指導や助言を得ながら卒業研究を行うことである。また、すべての学生が少人数のチームを編成し、外部機関が主催するデータ解析コンペティションに参加することである。そこでは、他大学の学部生や大学院生、社会人とともに実践的な課題に取り組み、その結果を競う。具体的な六つのテーマは①戦略分析や選手・チームの評価などを行う「スポーツデータ解析」②消費者の購買行動などを分析する「ID付きPOSデータ解析」③購買に対する広告効果を分析する「シングルソースデータ解析」④「在阪企業の課題解決のためのデータ解析」⑤「心理と行動と生体情報」のデータを組み合わせて分

析を行う「心理・行動・生体情報融合データ解析」⑥脳の活動状態と唾液などのメタボリックデータを分析する「脳・メタボリックデータ解析」である。

宿久ゼミではコンペティションを「他流試合」と称している。その狙いは学内に閉じこもらずに、常に外部に挑んで実践力を鍛えることである。受賞という明確な結果が出れば、意欲もさらに高まる。大学院生は論文で賞を取ることできるが、学部生はコンペが最適だと宿久教授は考えている。「既存の分析手法を組み合わせながら、社会における実際の課題を解決するという体験が、大学院における Academic Statistician（統計研究者）としての研究、あるいは、実社会における Professional Statistician（統計専門家）としての課題解決につながっていくのです。このような試みを通じて、特に学んでほしいのが、全ての基礎となる的確な『データの見方』です。多角的な視点から熟考し、本質を捉えることが何よりも重要です。チームでの協働も貴重な体験になります」

他者の真価を見いだせる 「ブリッジ人材」を育成

現在、宿久ゼミに所属するのは、学部生（4年次生）は18人（男性12人・女性6人）、大学院生は7人（男性5人・女性2人；内2人は留学生）。4年次生の本林英和さんが宿久ゼミを



▲大学院生の指導補助を得ながら大規模な実データを分析

選んだのは、統計学を本格的に学ぶためである。その意欲を引き出したのは宿久教授の「何をするにもポジティブなモチベーションで取り組み！」という助言だった。IT系企業でWebサービスやゲームの開発に挑みたいと意気込んでいる。同じく4年次生の岡部格明さんも宿久教授のアドバイスで2年次生の時から勉強会に参加した。先輩の卓越した能力に少しでも早く追いつくことを日々の目標にしている。大学院に進み、さらに深く統計学を探究し、社会に貢献したいという。統計系の研究室が第一条件で、大学院への進学率も高い宿久ゼミを選んだと語るのは博士課程（前期）1年次生の上田蒼さん。外部提供の大規模なデータを使うために分析は難解であるが、実践力が養われると評価する。卒業論文で福祉の分野に挑戦したように、統計とあまりなじみのない分野のデータも活用できる専門家を目指している。博士課程（後期）2年次生の

土田潤さんは、宿久ゼミでのコンペティションによる受賞は結果であり、白熱した議論も含めてその過程が面白かったと振り返る。データ分析の要は「データにどう向き合えるか」であり、社会に役立つ新たな手法の開発に取り組んでいる。「本ゼミのチームにも文系と理系が混在しており、協働することによって自分にはない優れた能力を相手を持っていることに気づく。その価値を認めてリスペクトする。これは非常に大切な経験です。企業も文系と理系の異なるメンタリティを持った社員の集合体です。大学などの組織も同様です。つまり、本ゼミで学ぶことによって卒業後にジェネラリストやデータサイエンティストとして参画する組織の状況を先取りして体験できるわけです」。これが宿久ゼミだけでなく、“文理融合”を推進する文化情報学部のメリットの一つであり、他者を深く理解して真価を見いだせる人間を宿久教授は「ブリッジ人材」と呼び、その育成に大きな意義を感じている。



自分にはない優れた能力を持っているゼミ生が多く、心から尊敬しています。
4年次生 岡部 格明さん

実際のデータを数多く分析し、そこから重要な知見を見だし、社会に還元したい。
博士課程（後期）2年次生 土田 潤さん

▼データ解析のコンペティションで数多くの受賞を誇る

夏の合宿は第一線で活躍中のOB&OGの方々から助言が得られる貴重な機会!!
4年次生 本林 英和さん

後輩の学習補助をしている時、疑問点を解決して喜ぶ姿に宿久ゼミの良さを実感。
博士課程（前期）1年次生 上田 蒼さん

茶文化の歴史を受け継ぐ伝統の地・京都 その新拠点として国内外へ際立つ発信を目指す

新島襄の妻、八重は卓越した女性茶道家として女性に茶道を教授し、広めた先駆けの人であった。茶園の歴史は京都を起源とし、茶の湯文化もこの地で大成した。さらに、裏千家15代・前家元の千玄室氏は同志社人である。これらを背景として2014年6月1日に京都と茶文化研究センターが開設された。産学官との積極的な連携を図り、地元で点在する文化拠点との協同を試み、新たな構想と学際的な探究を具現化することによって国内外へ際立つ文化発信を推し進めている。

京都と茶文化研究センター

センター長 佐伯 順子

【社会学部メディア学科教授】

1989年東京大学大学院博士課程修了(学術博士、東京大学、1992年)。国際日本文化研究センター客員助教授などを経て現職。著書に、『明治(美人)論—メディアは女性をどう変えたか』ほか。和装を愛し、能楽や茶道に親しみ、ヨガでリフレッシュを図っている。



時代に先駆けて女性に茶の湯文化を広めた茶道家・新島八重

幕末維新の1868(慶応4)年に戊辰戦争が勃発。この時、22歳の八重は会津の鶴ヶ城に籠城し、後世に語り継がれる獅子奮迅の戦いを繰り上げたが、奮戦むなしく敗れた。1871(明治4)年に兄・覚馬を頼って京都に移り住み、翌年に日本初の公立女学校である「新英学校及女紅場」の権舎長兼教導試補を務める。その後裏千家13代家元圓能齋の母親・猶鹿子に出会い、茶道に親しむようになったという。さらに1894(明治27)年に圓能齋に入門し、茶道教授の資格を取得。女性に茶道を広めた先駆者となる。ちなみに、新島旧邸に設けられた茶室「寂中庵」の扁額は圓能齋の揮毫である。



「八重は新島襄と44歳の時に死別した後、篤志看護婦として活動する一方で、86歳で他界するまで茶道に打ち込み、時代に先駆けて多くの女性に教授し、今日につながる大きな功績を残しました。また、本学のバックグラウンドである京都は茶の湯文化の歴史を受け継ぐ伝統の地であり、裏千家15代・前家元の千玄室氏も本学で学ばれました。これらが本センター開設の起点となりました」。また、2013年に放送されたNHK大河ドラマ『八重の桜』を契機に、同年、本学で「八重と裏千家」をテーマにしたシンポジウムが開催され、反響を呼んだことも、茶道家・八重に改めて着目するきっかけになったと佐伯順子センター長は振り返る。

京都で日本最古の茶園が生まれ、千利休が茶の湯文化を大成

鎌倉初期に禅宗を学ぶために宋に渡った臨済宗の開祖・栄西は、帰国後に『喫茶養生記』によってお茶の効用を説き、茶の種子を譲り受けた高山寺の僧・明恵が山内で栽培した。これが日本最古の茶園とされ、梶尾の茶は「本茶」と称されている。その後、寺院から武家へ喫茶の習慣が広まっていった。このような喫茶文化の普及に伴い、各地で茶が生産されるようになり、茶の味で産地を当てる「闘茶(茶寄合)」がはやったが、室町末期に村田珠光が禅の精神に基づく「侘び茶」を創出。武野紹鷗がこれを深め、安土桃山時代に千利休が今日に受け継がれる茶の湯文化を大成させ、織田信長や豊臣秀吉に茶頭として仕えるようになる。また、江戸時代には煎茶道が成立し、文人たちに愛好された。

「本センターの開設が新聞等で報道された時、最初に注目していただいたのが京都府農林水産部の方でした。京都の料理界との連携で2013年に『和食』がユネスコ無形文化遺産に登録され、さらに宇治茶を世界に向けて発信したいと考えておられたからです。早速、ご担当の丸直裕さんに本センターの嘱託研究員として参画していただき、センターとしても行政と協力して、京都の茶文化の振興に貢献したいと考えています」

画期的な「立礼の茶室デザインコンペティション」なども構想

京都には千年余の歴史を背景に京文化の次代への継承を目指している数多くの拠点が点在している。本センターでは茶文化をテーマに、これらとの積極的な協同を図り、緻密なネットワークを形成しながら地域活性化に貢献し、国内外に向けた新たな文化発信を推進していきたいと考えている。「初年度の研究会で『人と人』『人と文化』『文化と文化』の出会いの場として創設された福寿園CHA遊学パークを見学した際に、その積極的な世界を意識した姿勢に感銘を受け、本センターの方向性にも参考になりました」

昨年度は淡交社の上席執行役員・小川美代子氏による「近代以降の茶の湯と出版動向」、有職菓子御調進所老松の当主である太田達氏の「京の和菓子と茶文化」、茶道一茶菴家元十四世佃一可氏の「茶の歴史と京都の茶文化」、読売新聞大阪本社文化部の森恭彦氏による「京都のメディアと茶文化」などの研究会を開催した。小川美代子氏は本センターの嘱託研究員としても活動に参画されており、老松は江戸中期の京都を代表する儒者・皆川淇園の学問所を再興した公益財団法人有斐斎弘道館の文化活動も支援している。また、佃一可氏は2007年に国際茶文化賞を受賞し、森恭彦氏は茶の湯に関する書籍も出版している。

これまでの活動に基づき、本年度は茶文化の意義を、さらに多くの方々に考えていただく契機とするためのシンポジウムの開催、建築家・團紀彦先生のご協力のもと、京都が発祥の地である立礼をテーマにした先進的な公募企画「立礼の茶室デザインコンペティション」なども構想している。「本センターの可能性は限りなく広い」と佐伯センター長は意気込みを語る。

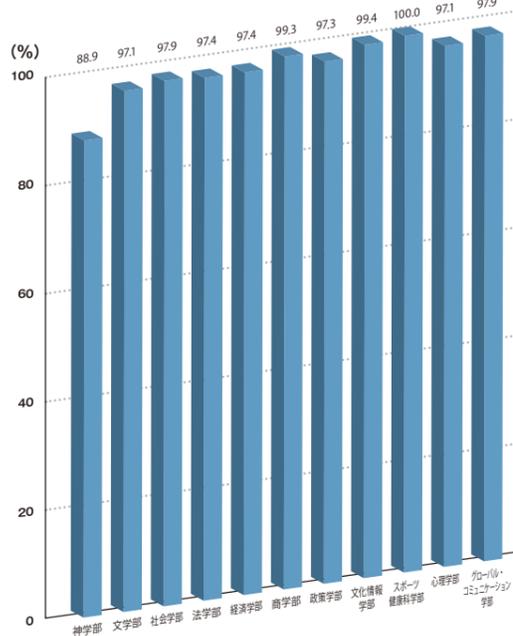


データでみる 2015年度就職戦線

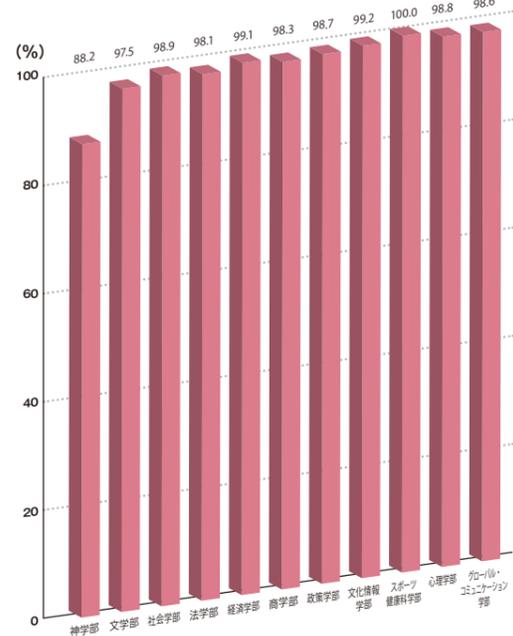
2015年度の就職状況は、大卒求人倍率の上昇を反映して、予想通り売り手市場となり、就職率は98.3%と高い数字になりました。その一方で、社会のニーズが多様化する中、企業は今後ますます、外国語運用能力、情報活用能力、人間関係を結ぶコミュニケーション能力、さらには問題発見解決能力など、自ら考え行動し成果を上げることができる潜在能力を持った自立した人材を求めています。このような変化の中で、皆さん自身がより高いキャリアを形成するためには、目的を持ち勉学やクラブ活動に充実した大学生活を送ることや、**インターンシップ(注1)**など学外の体験学習を通じて社会の動きを理解することが大切になります。

■ 就職率 $\text{就職率} = \frac{\text{就職者数}}{\text{就職希望者数}}$

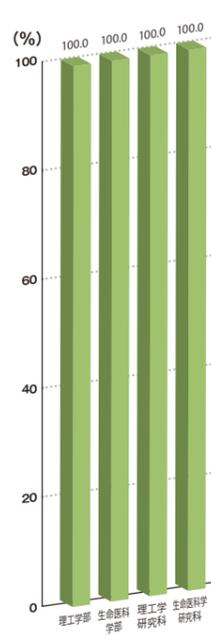
文科系学部 / 男子



文科系学部 / 女子



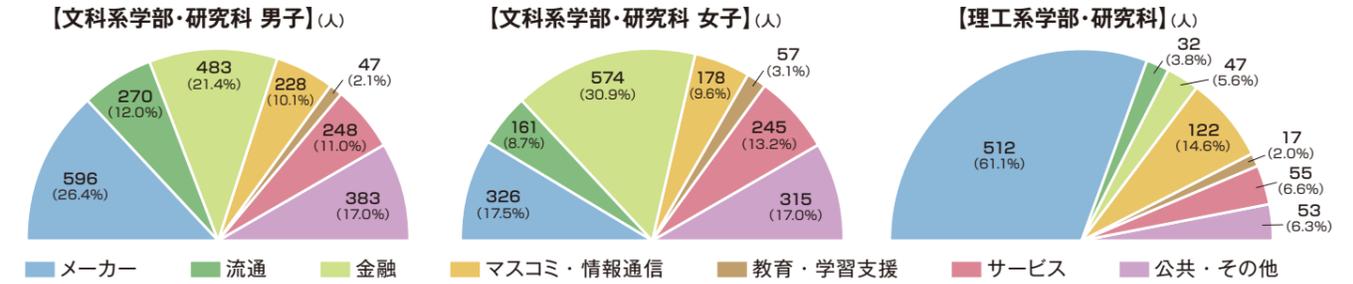
理工系学部・研究科



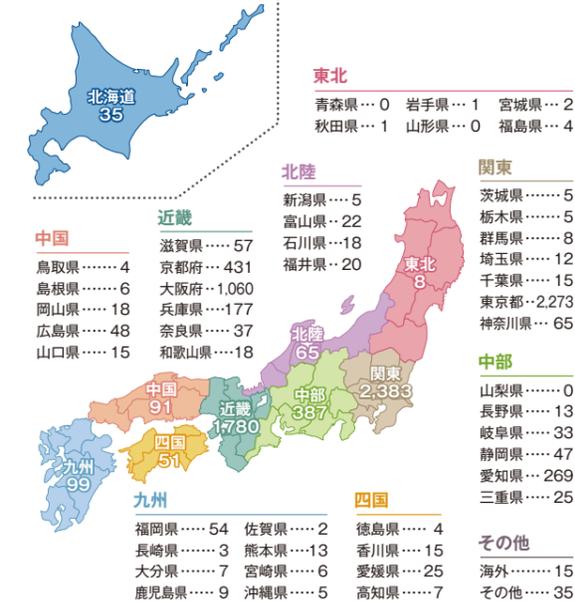
■ 主な就職先と人数

文科系		理工系	
株式会社三井住友銀行	73	パナソニック株式会社	22
みずほフィナンシャルグループ	55	株式会社トヨタ自動車	11
株式会社三菱東京UFJ銀行	48	株式会社日立製作所	11
東京海上日動火災保険株式会社	41	三菱電機株式会社	10
国家公務員(一般職)	38	川崎重工業株式会社	9
日本生命保険相互会社	36	株式会社村田製作所	9
株式会社京都銀行	35	株式会社豊田自動織機	8
りそなグループ	35	日本電気株式会社	7
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	30	三菱自動車工業株式会社	7
第一生命保険株式会社	29	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	6
京都市	26	オリパス株式会社	6
三井住友海上火災保険株式会社	24	積水化学工業株式会社	6
株式会社大和証券グループ本社	23	株式会社ジェイテクト	6
SMBC日興証券株式会社	23	日産自動車株式会社	6
日本郵便株式会社	23	日立造船株式会社	6
株式会社ワークスアプリケーションズ	21	本田技研工業株式会社	6
京都信用金庫	20	アイシン精機株式会社	5
国税専門官	20	関西電力株式会社	5
野村證券株式会社	20	SCSK株式会社	5
株式会社滋賀銀行	18	TIS株式会社	5
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	18	株式会社東芝	5
株式会社ゆうちょ銀行	18	TOTO株式会社	5
明治安田生命保険相互会社	17	ブラザー工業株式会社	5
三井住友信託銀行株式会社	16	村田機械株式会社	5
全日本空輸株式会社	15	ローム株式会社	5
日本航空株式会社	15	ススキ株式会社	4
三菱UFJ信託銀行株式会社	15	楽天株式会社	9
		パナソニック株式会社	22
		ダイキン工業株式会社	4
		日東電工株式会社	4
		日本電産株式会社	4
		野村證券株式会社	4
		株式会社富士通システムズ・ウエスト	4
		株式会社堀場製作所	4
		マツダ株式会社	4
		株式会社三井住友銀行	4
		ヤンマー株式会社	4
		旭化成グループ	3
		大塚製薬株式会社	3
		大阪府教員	3
		株式会社カネカ	3
		京都市	3
		株式会社小松製作所	3
		住友化学株式会社	3
		株式会社GSユアサ	3
		株式会社デンソー	3
		日本航空株式会社	3
		日本特殊陶業株式会社	3
		西日本旅客鉄道株式会社	3
		ニチユ三菱フオークリフト株式会社	3
		株式会社野村総合研究所	3
		株式会社リコー	3
		株式会社メイテック	3
		株式会社ワークスアプリケーションズ	3
		りそなグループ	3

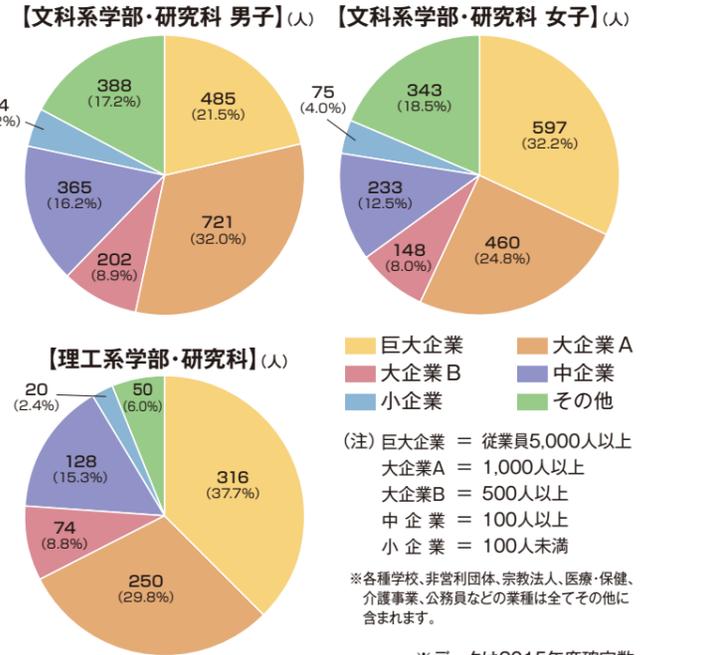
■ 業種別内定状況



■ 地区別内定状況(人)



■ 従業員規模別内定状況



※データは2015年度確定数

(注1) インターンシップ

インターンシップは、学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことです。本学では正課科目「キャリア形成とインターンシップ」を開講しています。学生が大学で学んだ社会の諸課題と、その問題解決に向けての考え方、専門知識・理念との統合を図り、その経験を通じて、より高い学習意欲を喚起しています。同時に、仕事、職業に対する興味・関心を高め、自らの適性や適職を考える大きな契機となることを願っています。その他にも企業主導型(公募制)のインターンシップもあり、キャリア支援システム「e-career」(<https://career.doshisha.ac.jp/campusweb/>)でその一部を紹介していますので参考にしてください。

参加者の感想



このインターンシップの経験は非常に有意義なものでした。今振り返ってみると、参加してよかったという思いに満ち溢れています。実際に会社でインターンシップを行うことで、自分と社会人との違いが明確にわかり、自分がまだ学生としての甘えがあると感ずることができました。また、この実習の中で自分にいかに知識がなく、相手に伝える力が欠如しているかわかったことも大きな成果です。

自分がどのような職に就くことになったとしても、大切なのはその環境の中で自分が何をすべきか何ができるのか考え、実行に移していくことだと改めて気づくことができました。企業分析なども大事ですが、それよりも今の時期に自分を見つめ直し成長できる機会をインターンシップ研修を通じて得ることができたので、これからの就職活動を含め学生生活に生かしていきたいと強く思うようになりました。

初めて社会人の方と交流させていただき、同じ立場に立つことで、臆することなく自らの意見を発信し、自分の疑問や発見をとことん追求する積極性を身に付けることができました。また、それがいかに社会人にとって重要か学ぶことができました。この積極性は、就職活動や社会に出た際の、これからより多くの様々な人と関わり、未知の世界に飛び込む場面において、私の大きな武器になると思います。

実習の経験を生かして、もう一度「自分は将来何をしたいのか」、「どんな企業で働きたいのか」、「どのようなキャリアを歩むのか」ということを考え直したいと思います。これらの問いに関して私は自分なりに考えてきたつもりでした。しかし、今回のインターンシップで様々な経験をする中で、自分の将来に対する甘さを認識しました。

今回の体験は絶対に無駄ではないと言い切れます。様々な体験ができたこともそうですが、何よりいろいろな方と出会い、会話できたことが貴重な経験となりました。普段話さないような方と話すことで、その人の考え方に触れ、自分の価値観を広げることができ、とてもよかったです。

2016年度 大学予算について

世界経済の不透明さが強まる中で、国内の経済指標は緩やかに改善しているといわれるものの、デフレからの脱却による景気回復を実感するには未だ至っていません。私立大学は、18歳人口が再び減少に転じる競争激化の時代が迫る中、私立大学等経常費補助金が不交付となる入学定員充足率の基準が段階的に引き下げられ、経営環境はますます厳しさを増しています。一方、予測困難な時代の中で、社会からはどのような状況にも対応できる多様な人物の育成が大学に強く求められています。本学は、これからもその期待に応えるべく、財政基盤の安定化を図り、建学の精神に基づく教育研究のさらなる発展に努めていかなければなりません。

2016年度は、同志社の原点を見つめ直し、10年後へ向けさらなる飛躍を目指して、「同志社大学ビジョン2025」の6つの優先課題から具体的施策を検討し、中期目標を達成するまでのアクション・プランに取り組んでいきます。教学面では、グローバル教育センターを新設し、外国語による授業の実施と教養教育の充実を促進します。さらにグローバル・リベラルアーツ副専攻を置き、揺るぎない志を現代的に解釈し、社会の変化や多様性に大胆かつ柔軟に対応することのできる人物の養成を目指します。また、「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」への取り組みも引き続き推進していきます。

教育研究環境の整備では、新教務システムの開発や統合運用管理システムのリプレースのほか、京田辺校地での学習支援環境の整備充実に向けて取り組みます。学生支援の面では、ボランティア活動への支援の取り組みを進めるとともに、今後の学生寮の在り方についての検討を進めます。また、情報発信の一層の強化や社会との連携の深化、プレゼンス向上などに努めるため、リブランディング事業に継続的に取り組みます。以上の方針のもと、計画性を重視して限られた財源を効率的に配分することを大原則に予算を編成しています。

収入の部

学生生徒等納付金は、16年度入学生の学費改定に伴う増収や新設学部の新年度に係る取納があるものの、当初予算では新入生を入学定員通りで見込んでいるため、前年度に対して3億3千万円減の317億7千万円を計上しています。これ以外の収入については、確実に収入が見込めるもののみを計上しているため（主な増減理由は表1に注記）、**事業活動収入合計は388億9千万円**となり、前年度予算に対して17億7千万円の減収となっています。

第2号基本金取崩額は研究装置の取得資金1億2千万円を計上しています。
当期固定資産除却額13億3千万円は、固定資産（機器備品）の償却期間完了によるものです。
特定支出準備金取崩額の内訳は、国際連携推進

事業など使途特定準備金の取崩額です。
収入の部合計は406億2千万円となり、前年度予算に対して23億1千万円の減少となります。

支出の部

人件費は、任期付教員の増員等により、前年度に対して2億3千万円増の207億4千万円を計上しています。

事業費は、表1では教育研究経費（減価償却額を除く）、管理経費（同左）、施設関係支出、設備関係支出および予備費に仕訳されていますが、全体では対前年度比13億6千万円減の総額170億9千万円を計上しています。**経常的経費**については前年度予算を基準として計上し、**管理経費**については一部の重点項目を除いて極力節減を図っています。**建設事業**では、今出川校地において尋真館耐震改修工事及び

継志館給湯管改修工事等、京田辺校地においてラーネッド記念図書館改修工事等を計上しています。

徴収不能額等9千万円は、学費および学貸貸付金の徴収不能見込額に対する引当金に繰り入れる額です。

第2号基本金組入額6億円は、大学教学施設設備整備資金として理事会で承認された組入計画に基づくものです。

支出の部合計は430億5千万円となり、前年度予算に対して24億2千万円の減少となります。

収支差額の部

収入の部合計から支出の部合計を差し引いた当年度収支差額は、**24億3千万円**の支出超過となります。

（本文中の金額については1千万円未満を四捨五入しています）

主な事業

教育研究条件の充実
相互啓発による創造的学力カリキュラム(社会学部・社会学研究科)
社会福祉教育・研究支援センター事業(社会学部・社会学研究科)
企業法務プロフェッショナル育成事業(法学部・法学研究科)
入学前課題実施(商学部・商学研究科)
高大連携教育プログラム実施(商学部・商学研究科)
ソーシャル・イノベーター養成(政策学部・総合政策科学研究科)
政策提案能力を養う理論と実践との交流教育事業(政策学部・総合政策科学研究科)
教育・研究プログラムと地域公共人材大学連携事業(政策学部・総合政策科学研究科)
文理融合型教育による課題解決能力の育成事業(文化情報学部・文化情報科学研究科)
語学力向上及びインターンシップの促進(理工学部・理工学研究科)
英語によるプレゼンテーション能力向上及び海外インターンシップの促進(理工学部・理工学研究科)
研究センター連携型オープンフィールド教育事業(心理学部・心理学研究科)
司法研究科の教育支援(アカデミック・アドバイザー制度充実、判例法令DB整備他)
国際認証取得経費(ビジネス研究科)
PBL推進支援センター事業
CASEC導入(3年目)
先端的教育研究拠点の基盤整備
赤ちゃん学研究センターの研究拠点化

図書館PCコーナー什器備品整備
同志社京田辺会堂堂舎バイオオルガン設置
ラーニング・コミュニティイベント受付システム導入
訪知館動物実験施設整備
研究分析ツール導入

学生生活支援の充実
ボランティア支援室運営経費
障がい学生就職支援
企業研究セミナー業務委託

企画広報活動・管理運営
既存学部・大学院等の広報充実
課外活動紹介パンフレットの英文化
webによる出願システム導入
東京・福岡等での入学試験実施、春期入学試験の実施(司法研究科)
大型計算機システム改修業務委託
地域戦略広告
「志」コンテスト
全国紙広報及び東洋経済オンラインによる情報発信
東京サテライト・キャンパスリーフレット作成
研究開発推進機構webサイト及びパンフレット等の英文化
東京における産官学連携活動経費
研究倫理パンフレットの英文化
webサイト「同志社大学若手研究者プロフィール」構築
教務システム構築
教務システム開発に伴う諸システム改修
統合運用管理システムリプレース
メインサーバ収集・保管業務委託
人事・給与システム改修
ストレスチェック実施(法改正対応)
京田辺校地開校30周年記念式典開催

学貸貸付金返還督促手続業務委託

施設設備の整備および維持管理
光塩館 屋上改修工事
徳照館及び啓明館周辺外灯工事
臨光館 社会学部地下1階書庫改修工事
今出川校地 時報システム改修工事(2年目)
京田辺校地 教務センター給排水工事
多々羅キャンパス 体育館外壁タイル補修工事
多々羅キャンパス テニスコート人工芝改修工事
東京サテライト・キャンパス 遠隔講義システム設置工事
フレンドビースハウス 改修工事
同志社びわこリトリートセンター 革袋館セミナー室6AVシステム更新工事
同志社びわこリトリートセンター 漁人館空調改修工事

建設事業
尋真館 耐震改修工事(今出川)
継志館 給湯管改修工事(今出川)
カヌー部合宿所艇庫 増築工事
馬術部厩舎 改修工事(京田辺)
デイヴィス記念館 空調設備整備工事(京田辺)
至心館 空調機器更新工事(京田辺)
創考館 空調機器更新工事(京田辺)
知証館 昇降機更新工事(京田辺)
理化学館 昇降機更新工事(京田辺)
知源館 変電室改修工事(京田辺)
デイヴィス記念館 中央監視盤更新工事(京田辺)
日耀館 中央監視盤更新工事(京田辺)
情報メディア館 非常用発電機改修工事(京田辺)
頌真館 光ケーブル敷設工事(京田辺)
知源館横車椅子駐車スペース屋根設置工事(京田辺)

2016年度収支予算書(表1)

2016年4月1日から2017年3月31日まで

(単位:千円)

収入の部				
科目	予算	前年度予算	増減	主な内訳または増減理由
学生生徒等納付金	31,766,480	32,099,360	△332,880	新入生について入学定員通り計上
手数料	1,732,200	1,732,200	0	入学検定料等
寄付金	125,800	198,720	△72,920	寄付教育研究プロジェクト研究活動あて寄付金等、収納が確実なもののみ計上
補助金	3,372,480	3,638,070	△265,590	経常費補助金、国際化拠点整備事業費補助金等、収納が確実なもののみ計上
受取利息・配当金	275,840	724,680	△448,840	運用見通しに基づき収納見込み額を計上
資産売却差額	0	0	0	
付随事業・収益事業収入	355,400	966,210	△610,810	企業からの研究受託に係る受託事業収入等、収納が確実なもののみ計上
雑収入	705,140	743,280	△38,140	退職金財団交付金収入等、収納が確実なもののみ計上
繰出金	423,500	444,440	△20,940	法人内諸学校からの資金調達額の返済額等
分担金	131,720	111,210	20,510	法人内諸学校からの法人業務に係る分担金
事業活動収入合計	(38,888,560)	(40,658,170)	(△1,769,610)	
第2号基本金取崩額	120,000	60,000	60,000	研究装置の取得資金に充当
当期固定資産除却額	1,332,540	1,999,980	△667,440	2006年度取得固定資産の一括除却等
借入金等収入	0	0	0	
当期末未払金	0	38,320	△38,320	
基本金過年度組入額、未組入額計	(1,452,540)	(2,098,300)	(△645,760)	
特定支出準備金取崩額	282,040	179,230	102,810	国際連携推進事業に係る準備金の取崩額等
収入の部合計	[40,623,140]	[42,935,700]	[△2,312,560]	

支出の部				
科目	予算	前年度予算	増減	主な内訳または増減理由
人件費	20,743,310	20,510,620	232,690	任期付教員の増員等
教育研究経費	16,227,700	17,070,370	△842,670	主な事業参照
消耗品費他	12,205,250	13,002,440	△797,190	
減価償却額	4,022,450	4,067,930	△45,480	
管理経費	1,652,430	1,783,350	△130,920	主な事業参照
消耗品費他	1,477,030	1,604,990	△127,960	
減価償却額	175,400	178,360	△2,960	
借入金等利息	2,300	3,140	△840	借入金残高の減少
資産処分差額	5,480	35,000	△29,520	
徴収不能額等	86,560	74,240	12,320	
繰入金	0	531,450	△531,450	
予備費	240,000	120,000	120,000	経理規程(経常勘定における経常勘定事業活動収入の7/1000以上を計上)に基づく
事業活動支出合計	(38,957,780)	(40,128,170)	(△1,170,390)	
施設関係支出	1,962,430	2,156,220	△193,790	主な事業参照
設備関係支出	1,200,420	1,564,070	△363,650	主な事業参照
借入金等返済支出	38,870	38,870	0	
前期末未払金	53,540	104,240	△50,700	
第2号基本金組入額	600,000	1,200,000	△600,000	計画に基づき大学教学施設設備整備資金の組入額を計上
第3号基本金組入額	0	5,000	△5,000	
第4号基本金組入額	159,600	34,300	125,300	学校法人会計基準に定める「恒常的に保持すべき資金の額」との差額を組入
基本金要組入額、当年度組入額計	(4,014,860)	(5,102,700)	(△1,087,840)	
特定支出準備金繰入額	80,910	244,680	△163,770	
支出の部合計	[43,053,550]	[45,475,550]	[△2,422,000]	

収支差額の部			
科目	予算	前年度予算	増減
当年度収支差額	(△2,430,410)	(△2,539,850)	—
一般支出準備金繰入額	0	0	—
一般支出準備金取崩額	0	1,128,480	—
繰入取崩後収支差額	(△2,430,410)	(△1,411,370)	—
前年度繰越収支差額	[△36,235,460]	[△34,824,090]	—
翌年度繰越収支差額	[△38,665,870]	[△36,235,460]	—

収支構成図





ボランティア支援室 開設!

学生のボランティア活動を支援することを目的に、同志社大学ボランティア支援室が4月に開設されました。「ボランティアを始めるにはどうしたらいいの?」「地域の方々と触れ合いたい」など、ボランティアに少しでも興味のある学生の皆さんは、ぜひ一度ボランティア支援室に足を運んでみてください。

ボランティア支援室では、ボランティア活動を始めたい学生や、ボランティアに関するスキルアップを目指す学生のための各種セミナー・講演会、地域の方々と交流できる催しを定期的に行います。実際のボランティアへの参加に対するハードルが高ければ、まずはそのような催しに参加するところから始めてみるのも良いかも知れません。

社会における様々な場面において、学生の力が必要とされています。また、学生にとっても、ボランティア活動を通じて様々な立場や世代の方々と出会い、異なる価値観を認め合い、理解し合いながら協調して課題に取り組んでいく経験は、学生生活における大きな糧となることでしょう。

ボランティア支援室での取り組みについて興味のある方は、ボランティア支援室オリジナルサイトをご覧ください。

<http://volunteer.doshisha.ac.jp>
(ボランティア支援室)



外国人留学生歓迎特別 チャペル・アワーを開催

4月20日、神学館礼拝堂で「外国人留学生歓迎特別チャペル・アワー (Special Chapel Hour for foreign students)」を

開催しました。

故郷を離れて見ず知らずの土地で新たな生活を始める留学生が、一日も早く大学の雰囲気に慣れて、充実したキャンパスライフを送れるように祈りを込めて、通訳なしの全編英語によるチャペル・アワーを初めて行いました。

オルガニストの松原令子氏による前奏の後、一同で「Hymn of Promise」(邦題「球根の中には」)を合唱し、司式 Gavin James CAMPBELLグローバル・スタディーズ研究科教授による聖書朗読に続き、関谷直人神学部教授により、「Put out into the deep」と題した奨励がなされました。関谷教授は、校祖新島の脱国やアメリカでの学びについて、自身の経験を踏まえて話し、会衆に向けて最後に、第1回卒業式にて新島が語ったとされる「Go, go, go in peace. Be strong! Mysterious Hand guide you!」とのエールを送りました。引き続き、メインボーカル: 木谷佳楠神学部助教、ギター: 関谷教授による「OCEANS」が演奏され、100人近い参加者の多くが合唱に加わる姿が見られました。

終了後、参加者からは「英語による礼拝は大変新鮮であった」、「音楽も交えてとても楽しい礼拝であった」などの感想が寄せられました。秋学期も同様に、外国語によるチャペル・アワーを開催するなど、キリスト教についてより幅広く知ってもらう機会を提供していく予定です。
(キリスト教文化センター)



体育会表彰式

3月12日、2015年度体育会表彰式を同志社礼拝堂で行いました。

この表彰式は、世界規模の大会、全国規模の大会、西日本規模の大会などにおいて優秀な成績を取めた体育会所属の部や個人の功績をたたえて表彰するもので、

大学と体育会本部が共催しています。

村田晃嗣学長の式辞、大谷實総長より受賞者をたたえる祝辞、沖田行司体育会長と豊原洋治同志社スポーツユニオン会長の挨拶のあと、最優秀部賞を始めとする各賞の授与が行われました。

表彰に続いて、体育会委員長による謝辞、前体育会委員長の答辞、川崎友巳学生支援センター所長より挨拶が行われ、最後に出席者一同によるカレッジソング斉唱があり、式が締めくくられました。



●最優秀部賞(総長杯)

馬術部
居合道部
カヌー部
山岳部
水泳部

●最優秀選手賞(学長杯)

アーチェリー部
小笠原 奨悟さん(商学部)
バスケットボール部
荒谷 優斗さん(スポーツ健康科学部)
自動車部
仲 健太郎さん(経済学部)
カヌー部
後藤 秀平さん(スポーツ健康科学部)
山本 結花さん(スポーツ健康科学部)
宍戸 美華さん(スポーツ健康科学部)
空手道部
山下 紗葵さん(スポーツ健康科学部)
東海 志保さん(スポーツ健康科学部)
ラグビー部
松井 千士さん(スポーツ健康科学部)
レスリング部
田邊 雄史さん(スポーツ健康科学部)
水泳部
高野 綾さん(スポーツ健康科学部)
射撃部
白鳥 航介さん(商学部)
卓球部
政本 ひかりさん(社会学部)
ヨット部
山田 剛士さん(商学部)
北原 洋さん(政策学部)
トライアスロン部
稲葉 大友さん(スポーツ健康科学部)

その他、優秀部賞、優秀選手賞、奨励賞、新人賞、同志社スポーツユニオン功労賞がそれぞれ授与されました。

※役職は3月12日現在
(スポーツ支援課)

同志社社友記贈呈式・ 総長賞表彰式

「同志社社友記贈呈式・総長賞表彰式」が3月26日、神学館礼拝堂において挙行されました。式は、高橋聖子女子大学嘱託講師の奏楽により始まり、讃美歌「234A」の斉唱、水谷誠理事長による聖書朗読並びに祈禱、同志社グリークラブによる「寒梅詩」の合唱と続きました。

大谷實総長の式辞では、「江崎玲於奈様の学術および実業界並びに教育界での実績は、特筆するに値するものだが、同志社とご縁においては、旧制同志社中学校において多感な学生時代をお過ごしいただいた。創立140周年の記念すべき時に社友の称号をお受けいただき深く感謝申し上げます。また、徳富次郎様は、同志社の大恩人、徳富蘇峰の曾孫にあられるお方で、社友であられた徳富敬太郎様ご逝去にあたり、後任として社友の称号をお受けいただいた。徳富蘇峰は明治から昭和にかけての大ジャーナリストであり、同志社英学校を中途退学されたが、新島の信頼が厚く、同志社の歴史を語る時に欠かせないお方である。今回、社友として徳富次郎様をお迎えできたことを、総長として光栄に存じている。お二方には、同志社の最高顧問として、同志社の発展・進化に一層のお力添えを賜りたい」との言葉がありました。

続いて、社友のお二人に水谷理事長から社友記が贈呈されました。江崎氏は、「新島先生の未知のものへのチャレンジの精神、同志社におけるキリスト教主義教育が自身の人格形成に決定的な影響を及ぼした。そのような学校から社友として迎えられる、大変光栄に思っている」、徳富氏は、「蘇峰は新島先生を心服し、敬愛していた。これから子孫がなすべきことは、新島先生と蘇峰が歩んできた道、また二人が別れてから蘇峰がなしてきたことを丁寧に伝えていくこと」と謝意を述べられました。

その後、カレッジソング、頌栄を斉唱したのち、水谷理事長の祝詞により式は締め

くくられました。

続いて、総長賞の表彰式が執り行われました。大谷総長は、式辞の中で「今後もそれぞれの立場でリーダーシップを発揮し、さらに精進を重ね、より一層素晴らしい成績を挙げていただきたい。皆さんは同志社の宝物である」と述べました。その後、14人の個人と2組の団体に総長賞が授与され、水谷理事長からの祝辞で表彰式を滞りなく終えました。



同志社大学の募金事業

本学では、かねてからご父母、教職員はもとより、広く社会全般に向けて募金のご協力をお願いしてきました。

昨年度は、教育研究活動を展開する施設設備の整備を目的とした「教育研究施設

等整備資金募金」、経済的に困窮する学生を支える奨学金制度の資金に充てる「特定寄付奨学金募金」、体育会等各部、各団体・サークルの活動を支援する「スポーツ活動充実資金募金」および「文化系公認団体活動充実資金募金」、次代を拓く情報教育プロジェクトを支援する「同志社ルーム記念館プロジェクト・サポート募金」事業を行いました。これに対してご父母、卒業生、法人、教職員など多方面からご協力をいただき、集まった資金を活用して所期の事業を実施します。

これも皆さまの深いご理解の賜物と、厚く御礼申し上げます。2015年度の募金事業の実績について、下記「募金事業実績報告書」の通りご報告します。

なお、特定寄付奨学金募金では3月末までに、卒業生および教職員の方々から以下の通りご協力をいただきました。

2015年度協力者ご芳名 (2016年2月~3月申込分 順不同 敬称略) 【卒業生、ご父母、一般、教職員】

300,000円	同志社校友会
20,000円	藤原 東
ご芳名のみ	三上 保孝
匿名	1人

※教育研究施設等整備資金募金、プロジェクト・サポート募金のご芳名につきましては、別途芳名録を作成し、ご寄付いただいた方々にお送りしています。

本学では個人の皆さまから広くご寄付を募ることを目的にインターネットでの募金を受け付けております。皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

URL <https://bokin.doshisha.ed.jp>

2015年度 募金事業実績報告書(2015年4月~2016年3月入金分)

募金事業	寄付件数および金額		使 途
教育研究施設等整備資金募金	在学生父母	284件 23,881,000円	2015年度に実施した尋真館・新町別館の耐震改修工事など、施設整備資金として活用。 ■建設事業の詳細は、学校法人同志社発行「事業報告書2015」(同志社大学2015年度の事業実績)に記載しています。
	卒業生、一般、法人	33件 2,386,000円	
	計	317件 26,267,000円	
特定寄付奨学金募金	在学生父母	2件 125,000円	2015年度に実施した特定寄付奨学金給付の資金として活用。 給付件数35件、給付総額10,500千円
	卒業生、一般、法人	103件 7,035,520円	
	教職員	52件 5,569,000円	
計	157件 12,729,520円		
スポーツ活動充実資金募金 文化系公認団体活動充実資金募金	卒業生、一般、法人	157件 36,256,000円	スポーツ活動および文化系公認団体の活動を充実させ、活動の高度化、活性化を図るための資金として活用。
	教職員	1件 30,000円	
	計	158件 36,286,000円	
同志社ルーム記念館プロジェクト・サポート募金	卒業生、一般、法人	2件 3,000,000円	2015年度に実施した同志社ルーム記念館プロジェクト(教職員、学生、生徒と産・官・学・地域の連携によるプロジェクト)の支援資金として活用。
	教職員	3件 190,000円	
	計	5件 3,190,000円	

インターネットでの募金では以下の払込方法をご選択いただけます。

1. クレジットカード
2. インターネットバンキング
3. 口座振替

これらの募金事業については、本年度以降も社会界に対して継続的に呼びかけを行いますので、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。
(資金課)

ハリス理化学館 同志社ギャラリー特別展

同志社大学天文同好会創立50周年記念
新島襄の見た宇宙



同志社大学天文同好会 (Doshisha University Astronomy Lovers Society, 通称DUALS)は2016年創立50周年を迎えます。これを機に、同志社の創立者・新島襄が岡山で入手したとされる天球儀(1701年製、同志社大学図書館所蔵)を特別に展示いたします。同時に新島襄や初期の同志社と天文学の関係を示す特に重要な資料、そして、DUALS50年の足跡を示す資料を展示します。

【展示期間】
6月25日(土)まで(閉館日:日曜日、月曜日)
【時間】
10時~17時(最終入館は16時30分まで)
【会場】
ハリス理化学館同志社ギャラリー2階
企画展示室(今出川キャンパス)
【入場料】 無料
【共催】 同志社社史資料センター、同志社大学天文同好会
【協力】 同志社大学図書館
【お問い合わせ先】
ハリス理化学館同志社ギャラリー事務室
TEL:075-251-2716
(同志社社史資料センター)

本学教員の執筆図書紹介

図書館調べ(価格は税別)

理論的アプローチと各国の取組み
埋橋孝文 他 編著 ミネルヴァ書房 3,800円

社会的支援をめぐる政策的アプローチ
埋橋孝文 他 編著 ミネルヴァ書房 3,800円

変革の鍵としてのジェンダー
山森亮 他 著 ミネルヴァ書房 5,000円

トイレ学大事典
越後屋朗 他 著 柏書房 12,000円

コンテンツツーリズム研究
佐藤翔 他 著 福村出版 2,400円

租税回避研究の展開と課題
田中治 他 著 ミネルヴァ書房 6,000円

入門証券市場論 第3版補訂
植田宏文 他 著 有斐閣 2,400円

新版注釈民法9 物権4 改訂版
安永正昭 他 著 有斐閣 7,800円

社会福祉概論 第3版
小山隆 他 編著 ミネルヴァ書房 2,000円

国際政治学をつかむ 新版
村田晃嗣 他 著 有斐閣 2,200円

国際経済学 第6版
田中靖人 著 同志社大学経済学部 1,867円

ミクロ経済学の基礎
田中靖人 著 同志社大学経済学部 2,400円

論点日本の政治
寺田貴 他 著 東京法令出版 2,600円

知的障害者の「親元からの自立」を実現する実践
森口弘美 著 ミネルヴァ書房 5,000円

データベース：基礎からネット社会での応用まで
三木光範 田中美里 著 共立出版 2,500円

人物で見る日本の教育 第2版
沖田行司 編 沖田行司 越水雄二 他 著
ミネルヴァ書房 2,800円

子ども法
横田光平 他 著 有斐閣 2,500円

顔の百科事典
竹原卓真 他 著 丸善出版 25,000円

社員の潜在能力を引き出す経営
太田肇 著 中央経済社 1,800円

民主主義をあきらめない
浜矩子 他 著 岩波書店 520円

ラインホルト哲学研究序説
田端信廣 著 萌書房 8,000円

財務会計論
瀧田輝己 著 税務経理協会 3,800円

紫式部と和歌の世界 新訂版
廣田収 他 編 武蔵野書院 1,500円

電気特性の測定、評価とデータ解釈
吉門進三 他 著 技術情報協会 30,000円

自動運転、先進運転支援システムの最新動向とセンシング技術
佐藤健哉 他 著 技術情報協会 30,000円

Investigation of Tube Radial Distribution Phenomenon (TRDP) and Its Function Appearance
塚越一彦 著 Kimura Keibunsha 6,500円

〈驚異〉の文化史
大沼由布 他 著 名古屋大学出版会 6,300円

自由の法理
松本哲治 他 著 成文堂 25,000円

刑法実践演習
十河太郎 他 著 法律文化社 3,400円

知識マーケティング
富田健司 著 中央経済社 3,200円

戦争に抗する
岡野八代 著 岩波書店 2,800円

臨床児童心理学
石川信一 他 編著 ミネルヴァ書房 2,800円

名詞・代名詞 品詞別学校文法講座 2
植木朝子 他 著 明治書院 3,800円

基礎塑性加工学 第3版
仲町英治 他 著 森北出版 2,600円

朝鮮人「慰安婦」と植民地支配責任
板垣竜太 他 編 小川原宏幸 他 著
御茶の水書房 1,400円

骨・関節・軟骨治療のための新製品開発と臨床ニーズ
眞野功 他 著 技術情報協会 30,000円

動機づけと情動
畑敏道 他 著 培風館 2,200円

有斐閣判例六法professional 平成28年版
山下友信 他 編 有斐閣 5,400円

ラテンアメリカ21世紀の社会と女性
松久玲子 他 著 新評論 3,800円

ASEANを知るための50章
浅野亮 他 著 明石書店 2,000円

すてたもんじゃない
越川弘英 著 キリスト新聞社 1,700円

青年と雑誌の黄金時代
河崎吉紀 他 著 岩波書店 3,400円

教育が開く新しい歴史学
小川原宏幸 他 著 山川出版社 2,000円

グローバル人材育成 連続セミナー開催のご案内

経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援(Go Global Japan)



キャリア × グローバル ~やっぱり英語力?~

グローバル社会で活躍するには、前提として高い英語力を身につけなければなりません。そこで、学内外でグローバルに活躍されている方をお招きして、ご自身のキャリアにおける英語力について、苦労話も交えてお話しいただく機会を設けます。連続セミナーとして、続々と開催していきますので、ぜひご参加ください。

参加無料

1 6月3日(金) 12:30~13:00 ローム記念館劇場空間
『グローバル人材としての自分をデザインしよう!』
講師:島田 和憲 国際センター留学コーディネーター

2 6月13日(月) 12:30~13:00 良心館ラーニング・commonsプレゼンテーションコート
(同時中継:ローム記念館劇場空間)
『企業研修担当者が語るTOEICの重要性』
講師:松名 大輔 氏 リロ・パナソニックエクセルインターナショナル株式会社 研修開発グループ

3 6月28日(火) 12:30~13:00 ローム記念館劇場空間
(同時中継:良心館ラーニング・commonsプレゼンテーションコート)
『グローバル化時代に英語力がなぜ必要なのか?』
講師:鄭 躍軍 国際センター長/文化情報学部教授

*7月以降も開催予定です

Message



KYOTO CONSORTIUM FOR JAPANESE STUDIES Director Mark E. Lincicome

English is the most widely used language in the world today. Fluency in English is essential for a successful career in today's leading professions, including: international development, diplomacy, commerce, industry, scientific and scholarly research, engineering, and educational and cultural exchange.



国際センター長/文化情報学部教授 ティヤクワン 鄭 躍軍

グローバル化が進んでいる今日では、英語による情報発信が日々増えています。有用な情報を速やかに手に入れるのに英語力が不可欠です。これに伴い、企業は英語力の高い人材を求めるようになってきました。学部生の皆さんが、ぜひ仲間と一緒にTOEIC®IPテストの一斉受験に参加することを切に願っています。

2016年度TOEIC®IPテスト 年間スケジュール

- 第2回 2016年 6月11日(土)【受付開始: 5月6日(金)】
- 第3回 2016年 7月 9日(土)【受付開始: 6月1日(水)】
- 第4回 2016年 11月12日(土)【受付開始: 10月1日(土)】
- 第5回 2016年 12月17日(土)【受付開始: 11月1日(火)】
- 第6回 2017年 1月21日(土)【受付開始: 12月1日(木)】
- 第7回 2017年 2月21日(火)【受付開始: 1月6日(金)】

申し込み先 今出川:良心館ブック&ショップ/京田辺:京田辺ブック&トラベル
*試験スケジュールはあくまで予定ですので、正確な日時は適宜確認ください

TOEIC®テスト対策講座 年間スケジュール

- TOEIC®テスト夏休み集中対策講座**
講座概要 1日6時間×5日+IPテスト 実施時期 8月下旬(お盆休み明け)
- 秋学期TOEIC®テスト対策講座**
講座概要 1回3時間×16回+IPテスト 実施時期 10月中旬~12月下旬
- TOEIC®テスト春休み集中対策講座**
講座概要 1日6時間×5日+IPテスト 実施時期 2月下旬(秋学期試験終了後)
*受講料や申し込み方法などの詳細は、下記ホームページに随時掲載します

2014年度以前の全学部生対象

TOEIC®IPテスト 全学部生一斉受験!!

日時 2017年2月17日(金) 会場 今出川・京田辺校地

全員受験 受験料無料

2014年度以前生を対象に、TOEIC®IPテストの一斉受験を学内で実施します。受験料は無料です。詳細は別途お知らせしますが、原則は全員受験です。本格的に始まる就職活動を前に、自分のレベルの把握にご活用ください。

*詳細は、下記ホームページに随時掲載します

詳しくはコチラ > http://www.doshisha.ac.jp/international/go_abroad/others.html

問い合わせ 同志社大学 国際化推進室
TEL:075-251-3300 E-mail:ji-glb30@mail.doshisha.ac.jp

Messages from International Students

留学生紹介



パク ヒョンソン
朴 炫宣 さん

2012年4月～
グローバル・コミュニケーション学部日本語コースに在学中
(韓国出身)

私は小学校から高校まで、日本語を学ぶ機会が多くありました。長年にわたって勉強してきた日本語を使いたいと考え、日本への留学を決意しました。同志社大学を選んだ理由は、グローバルでレベルな学風を持っており、ここでならすてきな生活を送れると思ったからです。

グローバル・コミュニケーション学部は、言葉や文化を学ぶことが好きな私にぴったりの学部です。授業では、高度な日本語を学習するだけでなく、日本の伝統文化を始め、経済・歴史・芸術・心理学・言語学などの幅広い分野の勉強ができます。授業で学んだ知識はより深く日本を理解することにつながりました。

3年次生の時には、アメリカのUCLAへの派遣留学に挑戦しました。留学を決めた理由の一つに、グローバル・コミュニケーション学を専攻する学生として、アジアを超え、西洋を含

저는 초등학교부터 고등학교까지 일본어를 배울 기회가 많았습니다. '오랫동안 공부한 일본어를 쓰고 싶다'고 생각하여, 일본으로 유학하기로 결심했습니다. 도시사대학으로 정한 이유는 글로벌하고 자유로운 학풍이 있어, 이곳에서라면 멋진 유학생활을 보낼 수 있을 것이라고 생각했기 때문입니다.

글로벌커뮤니케이션학부는 언어나 문화를 배우는 것을 좋아하는 저와 딱 맞는 학부였습니다. 수업에서는 높은 수준의 일본어를 학습하는 것뿐만 아니라, 일본의 전통문화를 시작으로, 경제, 역사, 예술, 심리학, 언어학 등 폭넓은 분야를 공부할 수 있었습니다. 수업에서 배운 지식은 더 깊게 일본을 이해할 수 있도록 도와주었습니다.

3학년에는 미국 UCLA로 파견유학을 가는 것도 전했습니다. 유학을 결심한 이유 중 하나로, 글로벌커뮤니케이션 전공자로서, 아시아를 넘어서 서양을 포함한 다양한 문화를 경험하여 시야를 더 넓히고 싶었던 점이 있습니다. 저는 일본과 미국에서의 유학을 통해, 이전에 비해서 더 객관적으로, 또 분석적으로 사물을 보는 힘을 기를 수 있게 되었습니다. 귀국 후에는 이 경험을 살려 취재기자로서 활약하기를 희망하고 있습니다.

저는 새로움이 가득한 여행을 좋아합니다. '외국의 매력은 실제로 가 보지 않으면 알 수 없다!'는 것이 저의 지론입니다. 쉬는 날에는 일본 국내를 포함한 해외 여러 나라를 여행했습니다. 유학도 마찬가지로 새로운 만남과 경험으로 가득하며, 두 가지 문화권에 걸쳐서 생활하는 것의 즐거움은 말로는 다 전해지지 않을 정도입니다. 이 글이 외국여행이나 해외유학을 망설이는 분들에게 도움이 되어, 해외로 나가는 용기를 갖는 데 도움이 되었으면 좋겠습니다.

박현선

んだ様々な文化を経験してもっと視野を広げたいと思ったことがあります。私は日本とアメリカでの留学を通して、以前に比べて、より客観的かつ分析的に物を見る力を養うことができたと思います。帰国後はこの経験を生かして、取材記者として活躍することを希望しています。

私は「新しい」がたくさんある旅行が好きです。「外国の魅力は実際に行ってみないとわからない!」というのが、私の持説です。休みには日本国内を含め、海外のいろいろな国を旅行しました。留学も同じく新たな出会いと経験に満ち溢れていて、二つの文化にまたがって生活することの面白さは、言葉では十分に伝えられないくらいです。この文章が、海外旅行や留学することをためらっている方たちの役に立ち、海外に出かける勇気をもたらしてくれることを願います。

朴 炫宣

INTERVIEW 同志社人 訪問

桑原 仙溪さん
〔1984年 工学部電気工学科卒業〕



奥田 佳緒莉さん
〔経済学部3年次生〕



桑原専慶流15世家元

桑原 仙溪さんに聞く

花と無心に向かい合うことの素晴らしさを一人でも多くの人々に伝え、日本が培ってきた自然を慈しむ心をよみがえらせ高めていく。それがいけばなの家元の務めだと桑原仙溪さんは語ります。

今回の同志社人

桑原 仙溪(和則) さん
〔1984年 工学部電気工学科 卒業〕

くわはら・せんけい 1961年大阪市生まれ。1980年に桑原専慶流入門。同志社大学を卒業した年に同流14世家元長女櫻子さんと結婚し、家元を補佐しながら教授活動を開始。古典の継承といけばなの普及に力を注ぐ。海外での教授活動にも積極的に取り組み、ヨーロッパを始め世界各国でいけばなを紹介。2004年に15世家元襲名。近年、二つの異なる花の出逢いをテーマに、一輪一枝の美の極みを創出する「出逢い花」によっていけばなの本質を探究している。日本いけばな芸術協会理事、京都いけばな協会副会長。

今回のインタビュー

奥田 佳緒莉 さん
〔経済学部 3年次生〕

おくだ・かおり 岐阜県出身。日本経済新聞社主催の第16回日経STOCKリーグ大学部門(672チーム参加)で優勝(部門優秀賞)した新聞ゼミで、行動ファイナンスの観点から一般財団法人池坊華道会を実証分析。その一環としていけばなを習い、催しもアシストしながら企業としての池坊の特色と価値を探究している。

でいけばなに大きな影響を与え続けています。

奥田 桑原専慶流の歴史について教えてください。

桑原 江戸時代の前期、17世紀後半に桑原富春軒仙溪が京都で始めました。尾形光琳や松尾芭蕉、井原西鶴、近松門左衛門などが活躍した時代です。流祖は公家や武家、寺院の床飾りとして発展していた立花の名手でした。卓越した知識人で、当時の植物学にも造詣が深く、その学識を存分に駆使して1688年(元禄元年)に『立花時勢粧』(全8巻)を出版しました。その中で述べられている花道論は、今日ま

奥田 代々の家元が受け継いでこられた桑原専慶流の特徴とは。

桑原 流祖は自然を敬う心を何よりも大切に、自らの心眼で美の極みを探り、そこから感受したものを自由闊達に表現しました。秀麗で理知的な気風も特徴です。ただし、本質を見極めなければ、何ものにもとられない“本当の自由”は得られません。技を磨くだけでは駄目なのです。この道理をしっかりと踏まえて、一人ひとりが自らの奥深くに秘めている個性や創造性を鮮やかに開花させる。それが代々継承し、目指してきた桑原専慶流のいけばなです。



INTERVIEW
同志社人
訪問

自然を敬う心を大切に、感受した美の息吹を自在に表現する

奥田 家元がいけばなの世界に入られたのは何歳の時ですか。

桑原 私が入門したのは19歳の時です。結婚を決意した相手が桑原専慶流14世家元の長女で、これを契機にいけばなを学び始めました。ご両親に快諾していただき、「長男であることを気にすることはない。自分が選んだ道を進みなさい」という実父の言葉にも後押しされて決心しました。大学を卒業した年に結婚式を挙げ、前家元を補佐するようになりました。披露宴ではケーキ入刀やキャンドルサービスの代わりに、臆面もなく2人で松と桜の古典花をいけました。まさに若気の至りで、今振り返ると冷や汗が出ますね(笑)。その後、次第に300年以上の歴史を受け継ぐ家元の婿養子になったことを強く実感するようになり、花や自然を見る目も変わりました。

奥田 具体的にどのような変化が生じたのですか。

桑原 花を通じて自分の中に自然に対する新たな気づきが芽生え、その深みを見つめるようになりました。小学校の4年生の時にボーイスカウトに入り、大学時代も続けていましたので、自然には親しんで育った方だと思いますが、いけばなのように真摯に向かい合ったことはなかった。街中を歩いても、野花や木々に目が留まり、

その美しさを心に刻むようになりました。

また、『立花時勢粧』を繰り返し熟読して、その教えの真意を探り、流祖が生きた時代の空気感に触れるために様々な角度から調べています。先々代や先代に習っておられたお弟子さんから直接お聞きする、教授する姿勢や逸話も、私の大きな糧になっています。例えば、先々代は明治時代の人で非常に厳しかったそうなのですが、お弟子さんがいけている間は階下の別室で謡曲を謡って時を過ごし、作品が仕上がると、その姿を墨で瞬時に描いて手渡していたそうです。その絵は、今も皆様の手元に残っています。実に味わい深い見事な素描です。これらによって、祖父の美意識や人間性も垣間見ることができます。

北ドイツでのいけこみで
いけばなの原点を見い出す

奥田 海外での活動について聞かせてください。

桑原 初めは先代を補佐する形ですが、25年ほど前から世界各国でいけばなを教授してきました。出向いたのはヨーロッパ、インド、韓国、モロッコ、トルコなどで、最初に訪れたのはドイツでした。欧州各国でいけばなの指導をしておられた高名なイギリス人女

性が先代の作品に感銘を受けられて、「ぜひ、特別講師に来てほしい」と依頼をいただいたのです。いずれの国も、このようなご要望にお応えするために赴きました。

奥田 海外で特に印象深い経験は何ですか。

桑原 ベルリンから北へ約180キロ離れたトーデンドルフ村の日本文化を紹介する施設で行ったいけばなの公開いけこみです。京都在住のドイツ人画家ハインリヒ・ヨハン・ラデロフさんが、地域の人々の協力を得て古い屋敷を改修して開館した日独交流会館で行いました。剣山や花器などは日



本から持っていきましたが、花は現地で調達しました。私が選んだのは、宿舎の庭に咲いていたジャーマンアイリスでした。参加して下さった方々からは多くの質問をいただいたのですが、特に印象深かったのが村長のウォルフ・ディーター・ミッテルシュタットさんの言葉でした。「子どもの



頃、学校の先生が麦畑に連れていって詩を朗読してくれた。その時、風で穂が波打つように私に迫り、心にも大きな感動の波がやってきた。そんな遠い日の光景を、あなたが花をいける姿を見て思い出しました」と感慨深げに語られたのです。花を「いける」という行為で、少年の日の遠い記憶を呼び覚ますことができる。また、花々によって人々の心が一つに結ばれるような感覚も覚えました。日本では気づけなかった大切なものを、海外で見いだした気がしました。

奥田 家元が大切にされていることや新たな試みを教えてください。

桑原 家元を襲名した時に、私自身の決意として「五つの思い」を自分に課しました。「学ぶ・磨く・生かす・伝える・和をつくる」です。いずれも基本的なことですが、これらを日々意識して過ごそうと考えました。全ては学ぶことから始まり、それを磨き続けなければならない。このようにして身に

つけたものを生かすことが社会との接点となり、人と人を結ぶこととなります。そして、代々受け継いできた伝統文化を広め、次代に伝えられるのです。また、いけばなには和をつくり出す大きな力があります。これを大切にしたいと思っています。

新たに試みているのが「出逢い花」です。二つの異なる花の出逢いをテーマにしたいけばなで、私自身の学びのために数年前に始めました。いけばなは、まず「自然ありき」で、個々の花の特徴や趣を引き出すのが基本です。一輪一枝に絞り込み、互いが映える姿を追い求めた時、最も際立つそれぞれの美が出現します。これを極めることによって、さらにいけばなの本質に近付けるような気がしています。

奥田 家元にとっていけばなとは何ですか。

桑原 自然に接し、深く共鳴した時、心が感受した美の息吹を形にする。それがいけばなの神髄だと考えていま

す。天与の恵みに感謝し、雪月花に思いを馳せる。今日の人々が忘れかけている先人が培ってきた日本の大切な心をよみがえらせるという観点でも、いけばなが果たす役割は大きいと思います。私たちは「自然との共生」という根源的な課題と真剣に向き合い、変えるべきことは変えなければならないと切実に思っています。

次代に向けて種をまく
安中教会で気づいた尊い教え

奥田 母校である同志社での学びについて聞かせてください。

桑原 新島襄先生の建学の精神、その教育理念には感銘を受けました。理想を実現するための驚異的な行動力にも敬服しています。実は50歳を迎えた区切りの年に、新島襄先生が帰国後に日本で最初に福音を伝えられた群馬県の安中教会を訪れ、その偉業をたたえて花々をいけてきました。この教会は日本人の手で創立された日本初の教会としても知られています。その時、同行してくれた先輩の教えが今も心に深く残っています。「新島先生が種をまかれたから、今ここがある。君も君の種をまきなさい」。種をまいて育てる。そして育った人がまた新たな種をまく。この教示を受け継いできたのが同志社なのだとして50歳になって初めて気づいたのです。同志社の後輩の皆さんも、この教導を心に抱き、多くの出会いを大切に、自らの個性と能力を開花させてほしいと心から願っています。

インタビューを終えて

花々や自然を心から敬い、いけばなの極みを
追い求めていらっしゃる姿に感銘を受けました

いけばなによって自然の深みを感じ、そこに多彩な感動があるという家元のお話に共感を覚え、特に「世界が違って見えてくる…」という言葉が心に残っています。日々新たな学びを求め続けておられる先輩の姿勢にも感銘を受けました。また、家元から直々に花をいける際の所作や心配りなどを細やかに教えていただき、感謝しています。今年予定しているカナダ留学時には、今日伺ったお話や経験を生かして、日本の文化の素晴らしさをしっかりと伝えたいと思っています。取材前は家元ということで非常に緊張しましたが、同志社の先輩後輩として共感できる部分が多々あり、本当に貴重な体験になりました。

インタビューー
奥田 佳緒莉 さん【経済学部 3年次生】





My Job, 私と「仕事」 第70回

森 祥文さん
 [2002年 法学部法律学科卒業]
 JRA日本中央競馬会
 お客様事業部 接客事業室 お客様サービス課



My Life

学生時代からの夢を追い続け、多彩な分野で活躍する卒業生を訪ね、仕事に挑む熱い思い、今後の目標などをインタビュー。その姿が学生の皆さんの将来のキャリア・プランに役立てば幸いです。

船津 每さん
 [2012年 文化情報学部卒業]
 海上自衛隊下総航空基地
 第203整備補給隊電子整備隊戦術情報処理器材班

競馬の魅力伝えるイベントやキャンペーンを企画・運営 “好き”であることが仕事のやりがいにつながっている

One day on the job



9:30
 出社後、最初にするのはメールの確認



10:30
 イベントやキャンペーンの運営に関するミーティングに出席



13:00
 午後からは外部スタッフと打ち合わせがあり、夜まで続くことも



15:00
 都内の工場で、プロモーション用の画像を確認



17:30
 夕方以降は、書類作成やレーシングプログラムの原稿確認

競馬好きが高じてJRAに入会し、14年。現在は、競馬の魅力をもっと多くの方に知っていただくためのイベントやキャンペーンの企画・運営を担当しています。競馬のエンターテインメント性や馬の美しさ、スポーツとしての面白み、競馬場の楽しみ方を伝え、競馬ファンを増やしていくことが主な業務です。これまで馬券の買い方や競馬新聞の読み方、パドックのチェックポイントなどをそれぞれ20分間で解説するビギナーズセミナーを立案し、好評を得ました。昨年は社内の海外研修に参加する機会があり、世界中の競馬場を見学。その際に目にした海外の競馬場ならではの華やかさを日本でも実現させることが今後の目標です。例えばイギリスでは、お酒を片手に仲間とわいわいレースを楽しむ風習があります。その雰囲気や楽しみ方を、女性や家族連れのお客様がピクニック気分でも楽しめる空間も新たに提供していきたいと考えています。

現在はお客様サービス全般に関わる業務に従事していますが、JRAは競馬そのものを運営する団体なので、他にも数多くの部署が存在します。私自身も入会以来全国を転勤し、馬のトレーニングセンターの通門管理からレ

ス映像の制作、馬産地での競走馬の研究、人事と幅広い業務に携わってきました。どの部署でも人と関わる機会が多く、それぞれの立場に立って考える能力が不可欠。学生時代に力を注いでいたサークル活動での経験が役立っています。

4年間所属していたダイビングサークルでは、部長を務めていました。趣味で楽しむ人もいればプロを目指す人もいます。個性的なメンバーが集まる環境において仲間と一つの目標に向けて進んでいくためには、厳しい仕事こそ、自分が率先して楽しむ姿勢を見せることが重要だと学べたことは、今でも大きな財産となっています。

また、私の場合は好きなことを仕事にしたことがやりがいにつながっていて、どのような業務を担当しても、それが競馬に関わることだと思えると楽しみながら取り組むことができます。学生の皆さんの中に進路がなかなか決められない方がいたら、「どんな時に幸せを感じるか」「何をしている時が心から楽しいか」を考えてみてください。そして自分にとって何が楽しいかは実際に経験してみないとわからないことなので、在学中に様々なことにチャレンジすることをお勧めします。

海上自衛隊の航空部隊を支える海上自衛隊哨戒機の整備が任務 海の安全や国民の平和を守る一助になりたい

海上自衛隊下総航空基地で、航空電子整備員として働いています。海上自衛隊が保有する航空機に搭載される電子機器の整備を担当し、各種の任務行動に使用される航空機の不具合を点検し、最高状態を維持するのが主な任務です。

私の仕事は機器の故障部位を特定するところから始まりますが、入隊当初は回路図の見方もわからない状況でした。電子理論を独学で勉強し、先輩にも教えていただきながら少しずつ知識を習得。疑問点は積極的に質問するよう心がけました。また、自衛隊ではそれぞれの業務に対する集合教育や昇任試験が行われるため、常に学ぶ環境に身を置いていることも、自身のレベルアップにつながったと思います。

作業場は、飛行場から程近い整備補給隊専用施設の中です。機器の整備は、微細な部品同士をつなげたりネジを締めたりと、非常に細やかな作業が求められます。電子機器の場合、金属同士を接合させる“はんだ付け”が不十分だと、ショートして火を噴く恐れも。いずれの機器も、世界に二つとない希少なものであるため、高水準の整備技能を確保し続けるのは大変です。しかしメンテナンスの難易度が高いほど、完了した時の達成感

ひとしおですね。今は先輩と協力しながら取り組んでいますが、将来的には不具合の探求から完了まで一人で任せられるようになりたいと思っています。

入隊のきっかけは、大学で見た東京音楽隊(海上自衛隊の音楽隊)の演奏でした。応援団吹奏楽部に所属していた私は、凛々しい制服姿で格好良く演奏する隊員の姿に心打たれ、自衛隊に興味を持つようになったのです。その中で航空電子整備員の仕事を知り、「これなら文化情報学部での学びが活かせるのではないかと入隊を決意しました。

整備員も、自衛隊員である以上「体力錬成」は必須。4年間吹奏楽漬けで運動不足だったため、入隊直後は付いていくのが精一杯でしたが、今は7kmくらいなら余裕をもって走れます(笑)。自衛隊は規律の維持が重要な社会なので、常に礼儀やチームワークが求められます。その点では、忙しくも充実していた学生生活の経験が大いに活かされています。

同志社大学はあらゆるチャンスに満ち溢れた場所。一生懸命取り組めば、将来につながる道がきっと拓けるはずです。在学生には目の前の物事一つひとつを大切に、将来につながる手ごかりを見つけてもらいたいです。

One day on the job



6:15
 朝6:00に起床し、全隊員で海上自衛隊体操



8:00
 機器の状態を先輩と一緒に確認するなど、整備業務開始



12:00
 毎週金曜日は、海自名物のカレーライスが昼食です



16:45
 業務を終えたら体育の時間。体力づくりも仕事のうち!



17:15
 今日は当直日のため、防火隊メンバーと顔合わせ

ANNOUNCEMENT

アナウンスメント
2016 June

Doshisha Spirit Week 2016 春

同志社大学には、建学以来脈々と受け継がれてきたキリスト教主義教育、新島襄の建学の教育理念、そしてその実践といった建学の精神と伝統があります。Doshisha Spirit Weekは、キリスト教主義教育や創立者新島襄について触れ、同志社人としてのアイデンティティを高めることを目的としています。

【開催期間】開催中～6月4日(土)

(京田辺校地)

●6月1日(水) 13:10～14:40 恵道館202番教室

講演「苦難は青年の業を成すの階梯なり」

同志社大学名誉教授 宮庄 哲夫

●6月1日(水) 15:00～15:45 同志社京田辺会堂 言館礼拝堂

水曜チャペル・アワー「進め、平安の内に」

神学部囀託講師 若林 裕

●6月2日(木) 14:55～16:25 知真館2号館202番教室

講演「J.N.ハリスのメッセージ」

元同志社女子中学校・高等学校校長 森 一郎 氏

(今出川校地)

●6月1日(水) 10:45～11:30 クラーク・チャペル(クラーク記念館2階)

水曜チャペル・アワー「新島襄の平民主義—ルーツとメッセージ」

同志社女子大学学長 加賀 裕郎

●6月1日(水) 14:55～16:25 明德館21番教室

講演「同志社歴史かるた」

同志社校友会大阪支産官学部会前会長 北出 至 氏

●6月2日(木) 13:10～14:40 明德館21番教室

講演「近代日本と同志社人脈」

ノンフィクション作家・評論家 保阪 正康 氏

●6月3日(金) 13:10～ 同志社礼拝堂前 集合

キャンパスめぐり隊(今出川校地)「江戸・明治の文化遺産」

案内人 同志社社史資料センター社史資料調査員 小枝 弘和

*詳細はHP <http://www.christian-center.jp/>をご覧ください。

【お問い合わせ先】

キリスト教文化センター京田辺校地事務室 TEL:0774-65-7370

キリスト教文化センター今出川校地事務室 TEL:075-251-3320

クローバーシアター



開講期間中の毎週火曜日、寒梅館のミニシアター・クローバーホールでは、映画史に残る名作上映を中心に様々なイベントを開催します。

【会場】寒梅館クローバーホール(地階) 【料金】本学学生・教職員は全て無料

●6月7日(火) 《映画から考える原発①》入場無料

16:30 『一年の九日』(1961年/ソ連/108分/モノクロ/監督:ミハイル・ロムム)

18:30 『ナージャの村』(1997年/日本/118分/監督:本橋成一)

●6月14日(火) 《映画から考える原発②》入場無料

16:30 『足尾74夏・・・そしてフクシマ原発事故の2011秋』

(1974・2011(デジタル復元)/日本/102分/撮影・構成:山口豊寧)

18:30 『祝の島』(2010年/日本/105分/監督:瀬藤あや)

●6月21日(火) 《連続講座 映画以内、映画以後、映画境界～京都編》

18:00開場 / 18:30開演

上映作品「ドキュメント・音から作る映画」(2015年/50分/監督:七里圭)

*上映後にアフタートークあり。

ゲスト:細馬宏通氏(滋賀県立大学人間文化学部教授)、七里圭監督

●6月28日(火) 《映画から考える原発③》入場無料

16:30 『ヒロシマ ナガサキ—核戦争のもたらすもの—』

(1982年/46分/カラー /監督:早川正美)

17:30 『ストーリー』(1979年/日ソ連/164分/監督:アンドレイ・タルコフスキー)

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

*内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

*春学期は7月中旬までを予定しています。秋学期は10月から再開予定です。

WOT(ワット)="What's On Thursdays!"



「木曜日には何かがある!」を合言葉に、開講期間中の毎週木曜日、映画上映を中心に多彩なイベントを開催します。

【会場】寒梅館ハーディーホール 【料金】本学学生・教職員は全て無料

●6月2日(木) 映画上映『母と暮せば』

(2015年/日本/130分/監督:山田洋次/出演:吉永小百合、二宮和也 ほか)

10:45 / 14:00 / 18:30 料金:一般1300円、Hardience会員・学生・前売1100円

●6月9日(木) 《NUCLEAR NATION ～3.11以後の世界を生きるために》

17:20 / 19:40

『シェーナウの想い～自然エネルギー社会を子どもたちに～』(2008年/ドイツ/60分)

18:30 入場無料

講演「ドイツの脱原発—その来し方と行方」青木聡子氏(名古屋大学環境学研究所准教授)

●6月16日(木)《NUCLEAR NATION ～3.11以後の世界を生きるために》

15:00 / 18:30

『フタバから遠く離れて 第二部』(2014年/日本/114分/監督:船橋淳)

17:10 トーク:船橋淳監督 入場無料

●6月23日(木) 映画上映『父を探して』(2013年/ブラジル/80分/監督:アレ・アブレウ)

16:45 / 18:45 料金:一般1800円、学生1500円、Hardience会員1200円

●6月30日(木)《フランス映画祭2016in関西》*詳細未定

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

*内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

*春学期は7月中旬までを予定しています。秋学期は10月から再開予定です。

●6月27日(月)～7月1日(金) 卒業アルバム委員会

「卒業アルバム個人・ゼミ・サークル撮影会」

今出川 明德館ラウンジ 10:30～18:00 無料

●6月29日(水) Soul2Soul 「春多目ステージ発表」

京田辺 ハローホール(多目的ホール) 17:00～18:00 無料

【学外】

●6月11日(土) 交響楽団 「第13回京都公演」

京都府長岡京記念文化会館 18:30～(17:30開場)

料金:一般1,000円・シニア(65歳以上)800円・学生500円

●6月18日(土) 学生混声合唱団C.C.D.

「第56回早稲田大学混声合唱団×同志社学生混声合唱団C.C.D. 交歓演奏会」

文化バルク城陽プラムホール 17:00～(16:30開場) 1,000円

●6月25日(土)・26日(日) 書道部 「青嵐展」

建仁寺 25日(土)10:00～17:00 無料 26日(日)10:00～16:00 無料

●6月25日(土) 交響楽団 「第55回 同立交歓演奏会」

東京芸術劇場 18:00～(17:00開場) 全席指定 S席1,500円・A席1,000円

Hardience(ハーディー友の会)メンバー募集中!

同志社大学今出川校地学生支援課では、より多くの方に、寒梅館のイベントをきっかけとして本学および本学学生の活動に関心を持っていただくために、私たちとともに催しを盛り上げていただける方を募集しております。お申し込みは、今出川校地学生支援課窓口にて、随時受付中です。

【対 象】一般・他学生(本学学生・教職員は対象外とさせていただきます)

【会 費】無料

【特 典】寒梅館イベント情報の郵送(希望者のみ)、案内メール配信、映画招待券やコンサート入場券のプレゼント(抽選)・入場料割引、学生団体による公演・お芝居等へのご招待、寒梅館レストランでの割引 etc.

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

♪観に行こう聴きに行こう♪—学生団体6月の活動予定—

【学内】

●6月3日(金) F.B.I. 「三団体合同上映会vol.1」

今出川 寒梅館クローバーホール 12:30～18:00(12:00開場) 無料

●6月8日(水) ピアノ研究会 「寒梅館ミニアトリウムコンサート」

今出川 寒梅館アトリウム 12:30～13:00 無料

●6月15日(水) Soul2Soul 「春ハーディーホール発表」

今出川 寒梅館ハーディーホール 17:00～18:30 無料

●6月16日(木)～20日(月) ART-SOZO 「6月展」

今出川 寒梅館地下1階ギャラリー 12:00～19:00 無料

●6月19日(日) 法学研究会 「常設法律相談会」

今出川 寒梅館2A・2B・2C(受付:寒梅館1階) 13:00～16:30 無料

●6月19日(日) ピアノ研究会 「第27回定期演奏会」

今出川 寒梅館ハーディーホール 15:00～17:00(14:30開場) 無料

障がい学生支援制度 サポートスタッフ大募集!



同じキャンパスで学ぶ障がい学生(Challenged)の立場に立って、責任をもって支援活動に取り組んでくださる方を募集しています。初めての方でもできることはたくさんありますので、ぜひスタッフに登録して、パソコン通訳・ノートテイク・ガイドヘルプ・代筆・車椅子介助などの活動にご協力ください。講演会や各種イベントなど、詳しくは障がい学生支援室HP(<http://challenged.doshisha.ac.jp/>)で随時お知らせしています。関心のある方は、障がい学生支援室までお気軽にお越しください。

【支援活動の内容】

聴覚障がい:パソコン通訳、ノートテイク、映像文字起こし・字幕付けなど

応援に行こう! 体育会試合日程

【アーチェリー部】

●6月18日(土)・19日(日)

第55回全日本学生アーチェリー 王座決定戦 つま恋多目的広場(静岡県)

●8月9日(火)～11日(木・祝)

第56回関西学生アーチェリーターゲット選手権大会・予選 服部緑地陸上競技場(大阪府)

●8月17日(水)～19日(金)

第56回関西学生アーチェリーターゲット選手権大会・決勝 服部緑地陸上競技場(大阪府)

●8月26日(金)・予選、8月27日(土)・決勝

第39回関西学生アーチェリーフィールド選手権大会 白梅スポーツクラブ(京都市)

●9月9日(金)～11日(日)

第55回全日本学生個人選手権大会 はらっパーク宮代(埼玉県)

【アメリカンフットボール部】

●6月5日(日) JV戦 京田辺グラウンド 対戦相手:京都工芸繊維大学

【バドミントン部】

●9月8日(木)・9日(金)・15日(木) 関西学生秋季リーグ戦大会 大阪中央体育館

【バスケットボール部】

●6月8日(水)～12日(日) 西日本学生バスケットボール選手権大会

【ボードセーリング部】

●6月4日(土)・5日(日) 琵琶湖マリンカップ 琵琶湖(滋賀県)

●6月18日(土)・19日(日) 関西選手権 甲子園浜(兵庫県)

【ボート部】

●9月22日(木・祝)～25日(日)

第43回全日本大学選手権大会 戸田ボートコース(埼玉県)

【フェンシング部】

●6月1日(水) 王座決定戦 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館(東京都)

【カヌー部】

●6月25日(土)・26日(日)

京都府カヌースプリント選手権 琵琶湖漕艇場(滋賀県)

●8月23日(火)～28日(日)

第52回全日本学生カヌー選手権大会 木場潟カヌー競技場(石川県)

【空手道部】

●7月3日(日) 第60回全日本学生空手道選手権大会・東西対抗戦 大阪中央体育館 9:00

●9月4日(日) 第8回関西学生空手道オープンーナメント 近畿大学記念館 9:00

【剣道部】

●7月2日(土)・3日(日)

第64回全日本学生剣道選手権大会 第50回全日本女子学生剣道選手権

日本武道館(東京都)

●9月25日(日)

第64回関西学生剣道優勝大会 第40回関西女子学生剣道優勝大会

大阪中央体育館(大阪府) 9:00

【日本拳法部】

●6月12日(日) 第17回西日本学生拳法個人選手権大会 吹田市立武道館(洗心館) 11:00～

【ラグビー部】

●6月5日(日) 第20回伊那市大学ラグビー招待試合

伊那市陸上競技場(長野県) 12:00 対戦相手:釜石シーウェイブス

●6月12日(日) 第99回同慶ラグビー定期戦

石川県西部緑地公園陸上競技場 13:00 対戦相手:慶應義塾大学

【レスリング部】

●7月2日(土)・3日(日) 西日本学生新人戦 堺市金岡公園体育館(大阪府)

●8月25日(木)～28日(日) 全日本学生選手権 堺市金岡公園体育館(大阪府)

【陸上競技部】

●7月1日(金)～3日(日)

西日本学生陸上競技対校選手権大会 京都市西京極総合運動公園陸上競技場(京都市)

●9月2日(金)～4日(日)

日本学生陸上競技対校選手権大会 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(埼玉県)

視覚障がい:ガイドヘルプ、代筆、代読、対面朗読、講義資料・試験問題の点訳、電子データ化など

肢体不自由:代筆、車椅子介助、トイレ介助、食事介助など 他

【謝礼】900円 / 時間

【お問い合わせ先】

学生支援センター 障がい学生支援室(京田辺 / 成心館1階)

TEL:0774-65-7411 E-mail:jt-care@mail.doshisha.ac.jp

学生支援センター 障がい学生支援室(今出川 / 寒梅館1階)

TEL:075-251-3273 E-mail:ji-care@mail.doshisha.ac.jp

(両校地とも障がい学生支援コーディネーターが常駐しています)

【ソフトテニス部】

●6月22日(水)～24日(金) 全日本大学ソフトテニス王座決定戦 東京体育館

●7月8日(金)～12日(火) 西日本学生ソフトテニス選手権大会 鈴鹿(三重県)

●8月4日(木)～10日(水)

全日本学生ソフトテニス大会 北九州市(福岡県)・下関市(山口県)

●9月24日(土)・25日(日) 関西学生秋季リーグ戦 マリテニスパーク・北村(大阪府)

【水泳部】

●7月16日(土)～18日(月・祝)

関西学生選手権水泳競技大会 なみはやドーム(大阪府)

●9月2日(金)～4日(日) 日本学生選手権水泳競技大会 東京辰巳国際水泳場

【相撲部】

●6月5日(日) 西日本学生相撲選手権大会 堺市大浜公園相撲場(大阪府) 10:00

●7月3日(日) 西日本選抜学生相撲大会 堺市大浜公園相撲場(大阪府) 10:00

●7月17日(日)

全日本大学選抜相撲金沢大会 金沢市卯辰山相撲場(石川県) 9:00

●7月24日(日)

西日本学生相撲個人体重別選手権大会 堺市大浜公園相撲場(大阪府) 10:00

●9月18日(日)

全国学生相撲個人体重別選手権大会 堺市大浜公園相撲場(大阪府) 12:00

【射撃部】

●6月16日(木)～19日(日)

第27回西日本学生ライフル射撃選手権大会

第24回西日本女子学生ライフル射撃選手権大会

能勢町国体記念スポーツセンター(大阪府)

●7月2日(土)・3日(日)

日本学生選抜ライフル射撃選手権大会 能勢町国体記念スポーツセンター(大阪府)

●9月15日(木)～18日(日)

第63回秋季全関西学生ライフル射撃選手権大会

第22回秋季全関西女子学生ライフル射撃選手権大会

第13回秋季全関西学生ピストル射撃競技大会

能勢町国体記念スポーツセンター(大阪府)

【少林寺拳法部】

●6月18日(土) 関西学生大会 ベイコム総合体育館(兵庫県)

【卓球部】

●6月17日(金)～19日(日)

平成28年度関西学生卓球選手権大会 向日市民体育館

●7月6日(水)～9日(土)

第86回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部) 鳥津アリーナ京都(京都府立体育館)

●8月8日(月)・9日(火)

第83回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)関西予選

向日市民体育館

●9月7日(水)～9日(金)、9月14日(水)～16日(金)

平成28年度関西学生秋季リーグ戦

京都市横大路運動公園体育館・ベイコム総合体育館

【ヨット部】